

No	法人種切	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
1	2019/4/1	ニッセイ財団	2019年度ニッセイ財団環境問題研究助成	(1)学際的総合研究 人間活動と環境保全との調和に関する研究 人口減少社会における持続可能な地域づくり、気候変動の影響や自然災害に対する適応力の強化 (2)若手研究・奨励研究 (3)若手研究・奨励研究 課題解決型だが、「人間性豊かな生活環境の確立」に役立つ挑戦的研究を期待	(1)学際的総合研究 海外居住者は代表者にはなれない (2)若手研究・奨励研究 海外居住者は代表者にはなれない。45歳未満(1974年4月1日以降生まれ)但し学生(大学院を含む)には応募資格なし。	(1)学際的総合研究 1,000万円～1,500万円(2年間分) (2)若手研究・奨励研究 50万円～150万円	消印有効	http://www.nihonseimai-zaidan.or.jp/kankyoin/d50x.html
2	2019/4/15	(公財)中山雄雄科学技術文化財団	2018年度第2回 国際交流助成	遊び・ゲームに関する国際会議に参加し研究成果を発表する者	国内の大学院、大学、短大、高専、専門学校及び非常利の研究機関に所属する研究者(研究者には大学院後期博士課程在学者を含む。ただし、指導教員・教員の推薦が必要)	総額70万円以内		http://www.nakayama-zaidan.or.jp/activity-grant01.html
3	2019/4/15	(公財)サントリ文化財団	(A)研究助成「学問の未来を拓く」 (B)研究助成「地域文化活動の継承と発展を考える」 平成31年度 一般研究助成	(A)人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究 (B)地域文化活動の実践者と研究者によるグループ研究	代表者が日本語での書類作成、学術的な議論への参加が可能な日本語能力を持つこと※詳細はHP参照	1件につき50万円から300万円		http://www.suntory.co.jp/afnd/research/
4	2019/4/16	(公財)セコム科学技術振興財団	2019年度 一般研究助成	国民の健康で安全な生活の確保、災害防止等国民生活に密着した研究	国内の大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人に所属する59歳以下の研究者を対象	1件あたり準備研究期間は500万円以内、本格研究期間は年間1,500万円以内で総額5,000万円以内	必着	https://www.secomzaidan.jp/pan.html
5	2019/4/18	東芝メモリ(株)	2019年度 東芝メモリ奨励研究	情報処理、AI関連技術をはじめ、半導体回路設計・デバイス・製造・プロセス技術等の独創的なテーマ(Feasibility Study含む)を広く募集	国内の学術研究機関に所属する若手研究者を対象但し任期付教員(任期付研究員を含む)の場合2020年9月末まで雇用期間満了すること。学生は博士後期課程在籍中または博士後期課程進学位内の修士課程在籍中の方 ※学生、任期付教員、助教、助手が応募する場合、要専任教員の推薦	1テーマ100万円上限 予定件数:20件	15時必着 ※学生可	https://www.business.toshiba.com/news/industry/company/news/news-topics/2019/03/corporate-20190301-1.html
6	2019/4/19	(公財)東京都中小企業振興公社	世界発信コンペティション	「スポーツ・健康」「リニアフリー」「環境」分野をはじめとする幅広い分野	大賞・1企業300万円 優秀賞・2企業程度100万円 奨励賞・10企業程度50万円 特別賞・1企業程度50万円	大賞・1企業300万円 優秀賞・2企業程度100万円 奨励賞・10企業程度50万円 特別賞・1企業程度50万円		https://www.tokyo-kosha.or.jp/sekaiz2020/compe/
7	2019/4/25	(公財)クワタ水・環境科学振興財団	2019年度研究助成プログラム	・自然科学・技術【採択予定17件】 水処理に関する理論、技術、分析などの研究 ・自然科学・技術【2【採択予定10件】 水圏生態系保全に関する研究 ・人文・社会科学【採択予定7件】 水に関する文化、教育、歴史、政策、制度などの研究 ・特別テーマ【採択予定3件】 「水を究める」研究 ・萌芽的研究【採択予定15件】 自然科学・技術の分野、人文・社会科学の分野で新しい切り口や手法に基づく水に関する研究	①国内の大学、高等専門学校、その他研究機関(民間団体・企業を除く)に所属する研究者 ②原則として45歳以下であること	①国内の大学、高等専門学校、その他研究機関(民間団体・企業を除く)に所属する研究者 ②原則として45歳以下であること	17時必着	http://www.kwf.or.jp/issue/gpaikobu.html
8	2019/4/26	(株)ダスキン	第44回リハネス研究費 ダスキン開発研究助成	健康に繋がる、住みよい生活環境を実現する研究。「清掃・衛生・健康」に関する研究	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者	研究費 50万円 + 家庭用エアコンクリーニングギフトカード(5台分)	24時まで 学部生・院生可	https://r.lne.st/2019/03/01/dskn/
9	2019/4/26	(株)リハネス	第44回リハネス研究費 ダスキン開発研究助成	清掃方法や室内環境の評価、アレルギーの検出・除去、アレルギー疾患の予防など、ダスキン開発研究所の主要研究テーマである「清掃・衛生・健康」に関する研究	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者。海外に留学中の方でも申請可能。研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	研究費 50万円 + 家庭用エアコンクリーニングギフトカード(5台分) ※自動掃除機稼働付きは対象外	24時 学部生・大学院生可	https://03.01/dskn/
10	2019/4/30	(公財)生命保険文化センター	2019年度生命保険に関する研究助成	商学・経営学、経済学、法学、家政学、社会学、消費者教育学、数学・統計学といった幅広い学問分野における「生命保険及びこれに関連する」研究を対象	日本国内の大学の大学院生(博士後期課程)、助教、講師、准教授、その他これに準ずる研究者。	50万円を上限	必着	http://www.jil.or.jp/research/2019/03/01/aiap.html
11	2019/4/30	味の素(株)	味の素株式会社研究提案募集(AIAP)	1.パーソナル栄養の実現に向けた次世代の栄養、診断、デジタル技術に関わるアイデア 2.バイオ医薬品の製造受託事業への展開を目的とした、バイオ医薬品の製造・DDS改良に関わるアイデア 3.細胞治療製品の製造、保存、および投与に関する工程に必要なアイデア 4.食のサステナビリティに貢献できる次世代の食品素材、食品加工・保存方法に関するアイデア	大学の研究者、その他研究機関、その他研究機関、ベンチャー企業等に所属する研究者も応募可	200万円/件	電子申請	https://www.aiaip.com/jp/rd/AIAP/
12	2019/5/7	(株)リハネス	第44回リハネス研究費 池田理化学医療研究奨励賞	ESG、IPSC、MSC等の幹細胞やその他の細胞を用いたヒト臨床を伴わない研究。再生医療の基礎を構築することで必要な基礎研究(分子細胞生物学、細胞生物学、発生工学、組織工学、材料工学等)、再生医療の実現に必要な細胞製造・加工プロセスに関わる基礎技術研究、創薬技術への利用や病態解析等の応用研究の他、ここにはない新規のアイデアも対象	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者(海外に留学中の方でも申請可能。研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能)	研究費上限50万円	18時締切 学部生・大学院生可	https://r.lne.st/2019/03/01/aida_rka/
13	2019/5/7	(株)池田理化学	第44回リハネス研究費 池田理化学医療研究奨励賞	ESG、IPSC、MSC等の幹細胞やその他の細胞を用いたヒト臨床を伴わない研究	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者	50万円/件	18時 学部生・院生可	https://r.lne.st/2019/03/01/aida_rka/
14	2019/5/7	(一財)前川ヒトづくり財団	2019年度生涯現役につながる研究・実践の助成金	「一般社」…全ての人が生涯生き生きと活躍するための生涯発達・生涯学習・生涯現役の場の、支援に関する研究 「特別社」…高齢者の就労及び実践事例報告に関する研究」	大学関係に従事する者 ほか(※HP参照)、大学院生可。	50万円～100万円	17時まで ※院生可	https://grants.mpic21.org/grant/
15	2019/5/8	(公財)メルコ学術振興財団	2019年度第一次研究助成	日本企業で実践されている、管理会計業務の定式化又は理論化に関する研究並びにそれらを含む周辺領域に関する研究。特に管理会計技法、管理会計システム、事業継承システム、およびこれに関する管理システムを対象とする研究	(1)研究助成(A)研究者・博士後期課程大学院生 ・研究助成(B)博士後期課程大学院生 (2)国際研究交流助成 (3)出版助成 ①個人の申請の場合 日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生。ただし、上記大学院生の場合、休学中(休学期を含む)に応募することはできません。 ②研究グループ(共同研究)の場合 代表者については、日本の大学・研究機関に所属すること、大学院は共同研究者の代表者になることはできません。 ※詳細はHP参照	(1)研究助成(A): 1件30万円～200万円程度。 研究助成(B): 一人毎年60万円程度×3年間、 総額1,500万円程度。 (2)総額500万円程度。 (3)1件150万円まで、総額150万円まで	院生可	http://melco-foundation.jp/apply/research/4984/
16	2019/5/15	(公財)永守財団	研究助成 2019	モータ、アクチュエータ、発電機及びそれらの制御方法、その応用技術に関する技術分野	①日本国内の大学・大学院・研究所等に所属し、対象分野に関する研究を主体的に進め、科学・産業の発展に貢献する所が大きいと思われる研究者(個人)とします。 ※所属機関(研究室など)の上席者による承諾書が必要です。 ※個人または所属のグループで、同一あるいは類似内容で、他の財団等から既に助成を受けている研究については、助成対象外とします。 ※概ね45歳以下の若手研究者を対象とします。	100万円/件 2019年10月 から2020年9月末日(1年間)	消印有効 ※学生・院生可	http://www.nagamori-forg.subsidy/applicatiouguidelines.html
17	2019/5/15	(公財)永守財団	研究助成 2019	モータ、アクチュエータ、発電機及びそれらの制御方法、その応用技術に関する技術分野	日本国内の大学・大学院・研究所等に所属し、対象分野に関する研究を主体的に進め、科学・産業の発展に貢献することが大きいと思われる研究者(個人)とする。概ね39歳以下の若手研究者を対象。 助成対象1:微生物に関する研究を行う目的で来日する外国人研究者 助成対象2:微生物に関する研究を行う目的で外国へ留学する日本人研究者	100万円/件	消印有効 詳細はHP参照	http://www.nagamori-forg.subsidy/applicatiouguidelines.html
18	2019/5/17	(公財)法人発祥研究所	2019年度 研究者招聘・留学助成募集要項	微生物の分類(分離、分類、保存)、微生物の基礎研究(生化学、構造・遺伝、生理、生態、進化など)	助成対象1:微生物に関する研究を行う目的で来日する外国人研究者 助成対象2:微生物に関する研究を行う目的で外国へ留学する日本人研究者	助成対象1:上限25万円/月。助成期間は1年以内 助成対象2:上限20万円/人。 助成対象3:助成対象1と同じ	必着	http://www.ifo.or.jp/research/guide01.html
19	2019/5/27	(公財)鉄鋼環境基金	第40回(2019年度)環境助成	鉄鋼製造、鉄鋼製品または鉄鋼副産物に関わる環境技術等の研究開発について	(1)一般研究助成 日本国内にある組織に所属する研究者で、2019年4月1日現在年齢39歳(2年計画で申請する場合は38歳)以下のもの。 ※ただし、大学生等の院生ではないこと。 大学研究機関が推薦する研究グループの代表研究者または個人研究者であり、職名については申請時点で、教授・准教授・講師・助教・助手に限る(非常勤不可)	(1)1,500千円/年以下 (2)1,000千円/年以下	必着	http://www.sept.or.jp/joussai/gpou.html
20	2019/5/31	(公財)カシオ科学振興財団	第37回(令和元年度)研究助成候補者推薦	<特別テーマ> 自然科学および人文科学のすべての分野(題目:地球環境を課題とする問題解決に向けた研究) <基本テーマ> A電気工学・機械工学を中心としたテーマ B健康維持・増進を目的とした電子工学と医学/生理学の異分野からなる学際的科学研究を中心としたテーマ C人材育成・人間行動を中心としたテーマ	大学研究機関が推薦する研究グループの代表研究者または個人研究者であり、職名については申請時点で、教授・准教授・講師・助教・助手に限る(非常勤不可)	<特別テーマ>1件あたり500万円、件数5件 <基本テーマ>1件あたり100万円、件数35件	推薦書・申請書様式は、研究開発センター・市ヶ谷事務課までと管理。学内締切:2019/5/21 ※推薦は1学部3件までとなっているため、上限に満たない場合のみ学内の締切後も受け付けます	https://casiozaidan.or.jp/entry/
21	2019/5/31	(一財)法政大学出版局	第6回法政大学出版局学術図書刊行助成論文	人文・社会科学分野における優れた学術的価値をもちながら未だ公開されていない専門的研究成果に対する刊行	人文・社会科学分野における優れた学術的研究成果。もしは海外の言語的作品翻訳 ※個人による未発表の書下ろし、翻訳、またはそれに準ずる論文 ※自費は不可 推薦額等、詳細はHP参照。	1件につき100万円前後(出版費に充当)。2件程度		http://www.h-u.ac.jp/20190229josei
22	2019/5/31	(公財)NEC C&C財団	2019年度C&C賞候補者公募	情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術、およびこれらの技術が融合する技術分野、つまり広くIT並びにエレクトロニクスの基礎となる学問的・技術的研究活動	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者。海外に留学中の方でも申請可能。研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	賞状、賞牌、賞金(1千円万円/件)	必着	http://www.candc.or.jp/kenkyu/2019/nominations.html
23	2019/5/31	(株)リハネス	第44回リハネス研究費 フォークシステムズ賞	超スマート社会の実現に向けたデータ活用を持つ研究全般 ものづくり、ロボティクス、モビリティ、IoT、人工知能、素材、バイオ、医療・ヘルスケア、食・農業、海洋開発、資源、環境、エネルギーなどの分野において、超スマート社会実現に向けたデータ活用の可能性を持つ研究全般	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者。海外に留学中の方でも申請可能。研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	研究費50万円+システム化に向けてのアドバイス	学部生・大学院生可	https://r.lne.st/2019/03/01/foqus_systems/
24	2019/5/31	(公財)野村財団	2019年度下期 講演会等助成	法学・政治学・経済学を中心とする社会科学分野および「女性が輝く社会の実現」をテーマとする講演会、シンポジウム等の開催に必要な費用に対する助成	法学・政治学・経済学を中心とする社会科学分野の研究に従事する個人、または当該資格を有する者を研究代表者とするグループ	100万円/件	17時まで	https://www.nomurafoundation.or.jp/social/g/koubu/lecture.html

No	法人種切	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
25	2019/5/31	日本生命財団	2019年度ニッセイ財団 高齢社会助成 地域福祉チャレンジ活動助成	1 地域福祉チャレンジ活動助成 地域包括ケアシステムの展開につながる4つのテーマのいづれかに該当する活動 2 認知症(若年性認知症)を含む人の地域での生活を支えるチャレンジ活動(本財団恒久分野) 3 福祉サービスの開発と起業化に向けてのチャレンジ活動(独自財源づくりを含む) 3.インフォーマルサービスとフォーマルサービスの連携によるケアリング 4. 医療・介護・福祉・保健の地域包括ケアを実現するためのチャレンジ活動	助成テーマにチャレンジする意欲があり、かつ他の団体等と協働して活動していく団体。法人格の有無は問わない。助成予定団体数は2~3団体。	2年間。最大400万円(1年最大200万円)	消印有効	http://www.nihonseisai-zaidan.or.jp/kourei/
26	2019/5/31	(公財)野村財団	2019年度下期 国際交流助成(研究者の招聘)	法学・政治学・経済学を中心とする社会科学分野(海外在住研究者の招聘。わが国の研究者が招聘して行われる調査、共同研究および国際会議・シンポジウム・学会・学術講演会等への出席・研究報告・討議参加等に対する助成)	法学・政治学・経済学を中心とする社会科学分野の研究に従事する個人、または当該資格を有する者を研究代表者とするグループ(海外旅費・交通費が支出の50%を超える場合)	100万円/件		https://www.nomurafoundation.or.jp/social/s/koubo/invitation.html
27	2019/5/31	(公財)野村財団	2019年度「女性が輝く社会の実現」をテーマにした研究助成	法学・政治学・経済学を中心とする社会科学分野(海外における調査、研究および国際会議・シンポジウム・学会・学術講演会等への出席・研究報告・討議参加等に対する助成)	法学・政治学・経済学を中心とする社会科学分野の研究に従事する個人、または当該資格を有する者を研究代表者とするグループ(海外旅費・交通費が支出の50%を超える場合)	500万円/件	17時まで	https://www.nomurafoundation.or.jp/social/s/koubo/wresearch.html
28	2019/5/31	(公財)野村財団	2019年度下期 国際交流助成(研究者の海外派遣)	法学・政治学・経済学を中心とする社会科学分野(海外における調査、研究および国際会議・シンポジウム・学会・学術講演会等への出席・研究報告・討議参加等に対する助成)	法学・政治学・経済学を中心とする社会科学分野の研究に従事する個人、または当該資格を有する者を研究代表者とするグループ(海外旅費・交通費が支出の50%を超える場合)	100万円/件	17時まで	https://www.nomurafoundation.or.jp/social/s/koubo/dispatch.html
29	2019/5/31	マツダ財団	第35回(2019年度)マツダ研究助成(科学技術関係)	現在ならびに将来にわたって解決が求められている科学技術に関する基礎研究および応用研究 (1)機械に係る研究分野 (2)電子・情報に係る研究分野 (3)化学系材料に係る研究分野 (4)物理系材料に係る研究分野	日本国内の大学・公的・附属機関、高等専門学校に所属(常勤)して、自然科学・工学技術分野の基礎的・応用的研究に従事し、その研究成果が科学技術の進歩・発展に貢献するところが大きいと思われる研究者単独、または非資格研究者を代表とする研究グループ。特に若手研究者や女性研究者の応募を歓迎。	100万円/件	必着	https://mzaidan.mazda.co.jp/bsyus/science_serach/index.html
30	2019/5/31	(株)フォーカスシステムズ	第44回リバネス研究賞フォーカスシステムズ賞	超スマート社会の実現に向けたデータ活用可能性を持つ研究全般 ものづくり、ロボティクス、モビリティ、IoT、人工知能、素材、バイオ、医療、ヘルスケア、食・農業、海洋開発、資源、環境、エネルギーなどの分野において、超スマート社会実現に向けたデータ活用可能性を持つ研究全般	大学・研究機関に所属する40歳以上の研究者	50万円/件+システム化に向けてのアドバイス	24時 ※学部生・院生可	https://r.line.st/2019/03/01/focus_systems/
31	2019/5/31	(公財)山崎香辛料振興財団	2019年度研究助成募集要項	香辛料の基礎的研究並びに香辛料の原材料や応用などの関連分野	香辛料の基礎的研究並びに香辛料の原材料や応用などの関連分野に関する研究をグループ又は単独(個人)	1件当たり100万円を基準		https://www.yamazakiseisaku-promotion.co.jp/bsyus/vorvo.shtml
32	2019/6/10	(公財)住友財団	基礎科学研究助成	理学(数学、物理学、化学、生物学)の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの(それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む)	「若手研究者」(個人またはグループ) ※研究者の所属が営利企業(業務を含む)の場合には応募不可	最大500万円/件	データ送信 2019/6/10(月)必着 郵送書類 2019/6/30(日)必着	http://www.sumitomo.or.jp/
33	2019/6/10	(公財)住友財団	環境研究助成	(1)一般研究 環境に関する研究(人文科学・社会科学・自然科学) 分野不問。 (2)課題研究 2019年度募集課題 深刻化する環境問題の理解および解決のための国際研究または国際共同研究	研究者個人または研究グループ 日本の大学等の研究機関に所属し、機関長の承諾がとれること(国籍不問)	(1)一般研究 最大500万円/件 (2)課題研究 最大1,000万円/件	データ送信 2019/6/10(日)必着 郵送書類 2019/6/30(日)必着	http://www.sumitomo.or.jp/
34	2019/6/14	(公財)ロッテ財団	公益財団法人ロッテ財団 第7回(2020年度)研究助成事業(奨励研究助成(A)・(B))	①食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術 ②食文化 ③食文化 ④嗜好性(おいしさ・味覚) ⑤栄養・機能性 ⑥食品安全・衛生 【2020年度特定課題】 ⑦香気 ⑧情報科学の食・健康への活用 ⑨その他分野横断的領域	①本年4月1日時点で原則40歳以上の方国籍は問いませんが、本人が日本語で申請書を記載できる方。 ②申請時点で、国内の大学・短期大学・高等専門学校および公的研究機関(以下、「所属機関」)に所属する研究者で、博士号取得者もしくは後期博士課程単位取得退学者、またはフェローに就いている方。 ③助成申請にあたり、所属機関長(学部長・研究科長・研究所長等)の承認を得られる方。 ④当財団の助成(「研究者育成助成」 「奨励研究(A)」 「奨励研究(B)」)について、重複しての応募または助成を受けることはできません。※詳細はHP参照	・奨励研究助成(A) 1件あたり最大300万円、研究期間は1年~3年まで選択可能 ・奨励研究助成(B) 1件あたり最大100万円、研究期間は1年		http://www.lotte-jf.or.jp/applicants2.html
35	2019/6/14	(財)電気通信普及財団	(1)シンポジウム・セミナー等開催助成(学術分野)(2019年度) (2)シンポジウム・セミナー等開催助成(社会貢献分野)	(1)情報通信の研究、普及・振興に関して学術的に寄与する会議等について、開催経費の一部を助成 (2)情報通信の普及、利活用の振興に社会的に寄与するシンポジウム・セミナー等のイベントの開催について、開催経費の一部を助成	会議、シンポジウム・セミナー等の開催を行う団体の責任者より申込可	(1)100万円程度/件 (2)100万円以下/件		https://www.taf.or.jp/garant-01/
36	2019/6/15	日本生命財団	2019年度ニッセイ財団 高齢社会助成 ①実践的研究助成 ②若手実践的研究助成	Ⅱ実践的研究助成(①実践的課題研究・②若手実践的課題研究) 「高齢社会助成対象分野・テーマ」に対する課題を明確にした実践的研究	①研究者または実践家(助手も対象)。研究組織は、複数の研究組織で研究者と実践家の双方が参加していること。助成予定は1件程度 ②複数の研究組織で研究者と実践家の双方が参加する。共同研究者が研究者の場合は45歳未満(2019年4月1日現在、(1974年4月2日以降生まれ)、実践家は年齢制限なし。	①2年間。最大400万円(1年最大200万円) ②1年。最大500万円	消印有効 大学院博士後期課程在籍、修士、単位取得退学で常勤の職のない方も含む	http://www.nihonseisai-zaidan.or.jp/kourei/
37	2019/6/17	マツダ財団	第35回(2019年度)マツダ研究助成(青少年健全育成関係)	①青少年の健全育成に係る市民活動の活性化に役立つ実践的な研究 ②ボランティア育成 ③災害復興・災害対策に関する活動 ④青少年の居場所づくり ⑤地域連携、コミュニティづくり ⑥自然とのふれあい ⑦国際交流・協力 ⑧青少年体験・ものづくり	日本国内の大学、NPO等所属して、青少年健全育成に関する研究に従事し、その研究成果が、次世代を担う青少年の健全育成に貢献することが大きいと思われる研究者または研究グループ	助成金の総額:400万円 助成件数:5~6件	必着 要所属機関の代表者の承諾	https://mzaidan.mazda.co.jp/bsyus/human_sersach/index.html
38	2019/6/21	(公財)JFE21世紀財団	(1)2019年度アジア歴史研究助成 (2)鉄鋼材料・製造プロセス、鉄鋼副産物を対象とする基礎/応用研究 (3)地球環境保全と地球温暖化防止を目的とした技術開発を対象とするエンジニアリング(工学)に係る基礎、応用技術の研究	(1)21世紀アジアと共存共栄するための、日本の産業と文化のVision構築に資するアジア歴史研究 (2)鉄鋼材料・製造プロセス、鉄鋼副産物を対象とする基礎/応用研究 (3)地球環境保全と地球温暖化防止を目的とした技術開発を対象とするエンジニアリング(工学)に係る基礎、応用技術の研究	・日本の国公私立大学または公的研究機関に勤務(常勤)する研究者。 ・グループで研究の場合には代表研究者以外の共同研究者は3名以内 ・大学院生および外国の大学、日本の他の大学や公的研究機関に所属する研究者不可 日本の大学又は大学院の学部、研究科等の組織を代表する職位の方	(1)150万円/件 (2)および(3)200万円/件	財団HPから送信	http://www.jfe-21st-cf.or.jp/furtherance/entrance.html
39	2019/6/28	(財)電気通信普及財団	特別講義開設助成(2019年度) 大学又は大学院において、情報通信に関する特別講義(人文・社会科学分野及び技術分野)を新たに開設するため、その経費を助成する。	(1)特別講義開設助成(2019年度) 大学又は大学院において、情報通信に関する特別講義(人文・社会科学分野及び技術分野)を新たに開設するため、その経費を助成する。 (2)財団設立35周年記念事業 特別講義開設助成募集要項(2019年度) 大学又は大学院において、昨今重要性を増している情報セキュリティや防災ICTなどの特定テーマに関する特別講義を新たに開設するもの、もしくはこれまでの取り組みをさらに充実するものの経費を助成	日本の大学又は大学院の学部、研究科等の組織を代表する職位の方	(1)対象期間:2020年度を初年度とする連続する3年間又は隔年での3年間 対象費用:限度各年度の特別講義開催の経費(原則、100万円以下) (2)対象期間:(1)と同じ 対象費用:各年度の特別講義開催の経費(原則、200万円以下)		https://www.taf.or.jp/garant-b-03/
40	2019/6/28	(一財)河川情報センター	2019年度河川情報センター研究助成	①水災害に係る水理・水文(洪水予測・洪水氾濫を含む)に関する研究 ②水害リスク情報に関する研究 ③河川情報の提供に関する研究 ④水災害情報の収集・共有に関する研究 ⑤水災害軽減に向けた地理空間情報との連携に関する研究 ⑥地域防災力向上に関する研究 ⑦災害時危機管理に関する研究 ⑧その他上記に類する研究	・日本国内の大学、高等専門学校及びこれらに附属する機関の研究者 ・国、地方公共団体、独立行政法人等及びこれらに附属する機関の研究者 ・民間企業の研究者 ※学生は博士後期課程に在籍する者に限って、共同研究者になることができます。	100~300万円/件	博士後期課程の学生は、共同研究者のみ可	http://www.river.or.jp/assess/2019-1.html
41	2019/6/28	(一財)キャンボウ財団	研究助成プログラム「新産業を生む科学技術」	社会の繁栄をめざし、新たな産業の創出を可能にする科学技術研究	大学、大学院、高等専門学校、公的研究機関等に勤務する研究者	2,000万円/件	2019年7月12日(金)15時	https://www.canon-foundation.jp/aid_industrial_base/outline.html
42	2019/6/28	(公財)野村財団	2020年度 金融・証券のフロンティアを拓く研究助成	国内外の金融・証券分野に関する経済学・法学等の理論的研究、データ分析に基づく実証的研究、幅広い学問分野にまたがる学際的研究、海外の研究も加えた国際的研究など	社会科学分野の研究に従事する個人、または当該資格を有する者を研究代表者とするグループ	2,000万円/件(助成対象実施期間は最長5年)	17時まで	https://www.nomurafoundation.or.jp/social/s/koubo/fronter.html
43	2019/6/28	(一社)日本内部監査協会	2019年度「研究助成」	内部監査及び関連諸分野に関する調査研究	日本国内の教育機関において、会計学、商学、経営学、経済学、法学、情報学等の調査研究に従事している個人で、申請時点で常勤の准教授、助教等(特任教員を含む)	50万円以内/件	消印有効	https://www.liajapan.com/system/josei/
44	2019/6/28	積水化学工業(株)	2019年度「自然に学ぶものづくり」研究助成	①ものづくりテーマ 社会課題(例:少子高齢化、環境、安全な水、エネルギー、まちづくり、健康、気候変動などの課題)の解決に向け短中期的に実用化に進む研究 ②「基盤研究テーマ」 将来「ものづくり」に活用が期待される独創的・先駆的研究、挑戦的萌芽研究	①本年4月1日時点で40歳以上の博士号取得者。国籍は問いませんが、本人が日本語で申請書を記載できる方 ②申請時点での所属先は国内・海外を問いませんが、助成開始後の受入研究機関は国内の大学・短期大学・高等専門学校および公的研究機関のみとします。海外の研究機関から国内に異動する目的での当助成への応募も可能です。 ③助成開始当日までに、受入研究機関より有期のポスト(称号)を付与され、機関内で研究の資格と環境を獲得できる方。※詳細はHP参照	①最高500万円/件(6件程度) ②最高300万円/件(6件程度)	オンライン登録: 2019/6/28 申請書等の付送: 2019/7/1必着 所属機関長の承認が必要	https://www.sekisui.co.jp/news/2019/1335701_34588.html
45	2019/6/28	(財)電気通信普及財団	長期海外研究助成(2019年度)	情報通信に関する研究(人文・社会科学分野及び技術分野)を行う研究者が、海外の大学又は研究機関の招聘を受けて、海外で長期期間、優れた研究活動を実施するため、その経費の一部を助成	・日本の大学等の常勤の研究者で、原則、40歳以下を限度、6ヶ月~1年以上(2019年10月から2020年9月までに派遣期間)	①滞在費の一部(原則、1日80米ドルを限度) ②往復海外渡航費(エコノミークラス運賃)	郵送必着	https://www.taf.or.jp/garant-k-01/
46	2019/6/28	(公財)ロッテ財団	公益財団法人ロッテ財団 第7回(2020年度)研究助成事業 研究者育成助成<ロッテ重光学術賞>	①食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術 ②食文化 ③食文化 ④嗜好性(おいしさ・味覚) ⑤栄養・機能性 ⑥食品安全・衛生 【2020年度特定課題】 ⑦香気 ⑧情報科学の食・健康への活用 ⑨その他分野横断的領域	①本年4月1日時点で40歳以上の博士号取得者。国籍は問いませんが、本人が日本語で申請書を記載できる方 ②申請時点での所属先は国内・海外を問いませんが、助成開始後の受入研究機関は国内の大学・短期大学・高等専門学校および公的研究機関のみとします。海外の研究機関から国内に異動する目的での当助成への応募も可能です。 ③助成開始当日までに、受入研究機関より有期のポスト(称号)を付与され、機関内で研究の資格と環境を獲得できる方。※詳細はHP参照	1,500万円/年		http://www.lotte-jf.or.jp/applicants1.html
47	2019/6/30	(公財)日本証券奨励財団	2019年度研究出版助成	証券金融経済部門と、具体的には証券、金融、財務・会計、経営、法律、経済、社会の各分野	大学、大学院、高等専門学校に在籍して従事している55歳(本年4月1日現在)の方を代表者とするグループ。	助成金総額は、500万円とし、研究出版(件)あたり50万円から100万円程度。	必着 院生は、博士課程又は博士後期課程に在籍者は可能	http://www.jstf.or.jp/research/publication.html

No	法人種切	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
48	2019/6/30	(公財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団	2019年度ヘルスリサーチ研究に関する第28回 研究助成	国内におけるヘルスリサーチ領域(自然科学や社会科学)の問題解決の共同研究 (1)国際共同研究 (2)国内共同研究(年齢制限なし) (3)国内共同研究(満39歳以下) 重点分野:制度・政策、食糧経済、保健医療の評価、保健医療サービス、医療哲学、保健医療資源の開発)以外も対象。 ※詳細はHP参照	(1)海外研究者を1名以上含めること。 (2)同一教室内研究者のみとの共同研究は対象としない。 (3)同一教室内研究者のみとの共同研究は対象としない。共同研究者はすべて満45歳以下とする。	(1)上限300万円/件(6件程度) (2)上限130万円/件(14件程度) (3)上限100万円/件(14件程度)	消印有効	https://www.health-research.or.jp/content/index.html
49	2019/6/30	(公財)野村マネジメント・スクール	2019年度学術研究支援		わが国の大学等において常勤の職に就き、経営者教育、経営学、ファイナンス、ITマネジメントを中心とする分野の研究に従事する個人、または当該資格を有する若手研究者を主とするグループ	1件あたり100万円。総額1000万円程度。	17時必着	https://system.nsam.or.jp/login/index.html
50	2019/6/30	(公財)日本証券奨励学財団	2019年度研究調査助成	証券、金融、財務・会計、企業・経営、法律、経済、社会の各分野	大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している55歳(本年4月1日現在)以下の研究者(グループ研究の場合は複数の研究機関にまたがってよい)とする。 なお、大学院博士課程(博士後期課程)に在籍する者を共同研究者に加えることができる。 (2)主たる研究者は、国内研究機関に常勤で勤務する研究者(大学院生を含む)。 (3)主たる研究者は40歳以下(2019年4月1日現在)但し、博士課程に在籍している場合には年齢制限なし。	100万円程度/件(総額1,000万円を予定)	必着	https://jsf.or.jp/rse/archpage.html
51	2019/6/30	(公財)伊藤科学振興財団	自然科学の研究を行う者に対する研究費	地学	大学の准教授、講師、助教およびこれに準ずる者として大学以外の国・公・私立研究機関において、これに準ずる者のある際は選考の対象に加える。大学院生・研究者は共同研究者	1件当たり100万円以内	正副2通を交付	http://www.itokawa.or.jp/foundation
52	2019/6/30	(一財)医療経済研究・社会保険福祉協会	2019年度(第23回)研究助成。若手研究者育成研究助成	以下の5課題の中から1つを選択 ①医療保険及び介護保険に関する政策的研究 ②診療報酬及び介護報酬に関する政策的研究(①を除く) ③費用便益分析・費用効用分析・費用効果分析等を用いた政策的研究 ④医療・介護産業に関する政策的研究 ⑤医療・介護の現体制に関する政策的研究	(1)対象分野に関する科学的実証的研究を志向する個人又はグループ (2)主たる研究者は、国内研究機関に常勤で勤務する研究者(大学院生を含む)。 (3)主たる研究者は40歳以下(2019年4月1日現在)但し、博士課程に在籍している場合には年齢制限なし。	50万円～100万円/件	※院生可	http://www.ihsp.jp/business/grant/
53	2019/6/30	(公財)日本証券奨励学財団	2019年度研究出版助成	証券、金融、財務・会計、企業・経営、法律、経済、社会の各分野	大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している55歳(本年4月1日現在)以下の研究者(グループ研究の場合は複数の研究機関にまたがってよい)とする。 なお、大学院博士課程(博士後期課程)に在籍する者を共同研究者に加えることができる。 専攻分野、産学連携、医療政策、社会保険政策、医薬品産業政策、その他広く医療に関して、優れた萌芽的研究あるいは独創的研究を目指す個人またはグループ(主たる研究者は、2019年4月1日現在で40歳以下であることが望ましい)	50～100万円程度/件(総額500万円を予定)	必着 ・申請時に完成原稿を提出すること。 ・2020年3月までに出版すること。	https://jsf.or.jp/rse/archpublication.html
54	2019/6/30	(公財)医療科学研究所	2019年度研究助成	①医療及び医薬品に関する経済学的調査・研究 ②医薬品等研究開発・生産・流通に関する調査・研究 ③医療とその関連領域の学際的調査・研究 ※以下の研究は対象外 ○通常の医学研究でもないべき自然科学的研究 ○医療・看護の専門技術に関する自然科学的研究 ○他の助成団体から助成を受けた研究と重複的に同じ内容の研究 証券金融経済部門とし、具体的には証券、金融、財務・会計、経営、法律、経済、社会の各分野	50万円以内8件、100万円以内2件(助成総額600万円以内)	消印有効	http://www.iken.or.jp/assist/about.html	
55	2019/6/30	(公財)日本証券奨励学財団	2019年度研究調査助成	証券金融経済部門とし、具体的には証券、金融、財務・会計、経営、法律、経済、社会の各分野	大学において学術の研究調査に従事している55歳(本年4月1日現在)の方々を代表者とするグループ	総額、1,000万円とし、研究調査1件当たり100万円程度	必着 院生は、博士課程又は博士後期課程に在籍は可能 消印有効	http://www.jsf.or.jp/essarchpage.html
56	2019/7/10	(公財)伊達会	2019年度科学技術賞 賞状・楯内賞状記念賞	(1)特別賞 研究または実践における科学技術社会論に対する貢献の実績に優れ、今後の発展が期待される研究を行う個人に授与 (2)奨励賞 実践活動(科学技術社会論の社会応用、または社会実践を通じた科学技術社会論の研究)を行う個人に授与	【科学・技術と社会の問題】に関する研究・実践活動を行う国内在住の個人またはグループ 科学技術社会論学部の非会員も応募可 特別賞は自薦または他薦。奨励賞と実践賞は自薦のみ。	(1)特別賞:賞金70万円1件 (2)奨励賞1件:研究助成金(原則1件につき30万円から50万円)を授与。 (3)実践賞1件:(2)と同じ	消印有効	http://jsstia.jp/content/category/9/86/34/
57	2019/7/12	(一財)キャン財団	研究助成プログラム「善き未来をひらく科学技術賞」	多様な価値観が共存する未来社会を洞察し、善き未来をひらくことに貢献する科学技術研究	大学、大学院、高等専門学校、公的研究機関等に勤務する研究者	3,000万円/件	15時	https://www.canon-foundation.jp/aid_idea/information.html
58	2019/7/17	(公財)DNP文化振興財団	2019年度 グラフィック文化に関する学術研究助成	(A部門)グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究 (B部門)グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究 ※詳細はHPに掲載	グラフィックデザイン、グラフィックアートに関する研究を行う研究者の個人またはグループ (1)大学に在籍する研究者(教員または大学院生) (2)美術館学委員 (3)大学院修了以上で研究者で、大学教授または美術館長職の権限のある者 (4)その他、上記に準ずる者	(A部門)(B部門)とも、1件につき上限50万円/年	必着	http://www.dnp.co.jp/foundation/grants/
59	2019/7/19	全国農業協同組合中央会(JA全中)	令和元年度JA研究奨励	【特別研究課題】 ①現代社会における農業協同組合(JA)の存在意義と役割について ②農業者の所得増大と地域の活性化を図るJAの戦略的行動について 【一般研究課題】 ①農業協同組合または協同組合に関するもの ②協同組合教育の振興に関するもの ③JA全国大会に関するもの	【特別研究課題】 JAに関する研究を続ける見込みがある。グループでの応募においてはJA職員(JA関係研究機関職員を含む)として勤務するまたは勤務者を1名加えることを推奨。 【一般研究課題】 令和元年5月末現在45歳未満の方で、将来とも日本においてJAに関する研究を続ける見込みのある方。大学教授およびこれと同等の職位にある方は除く。 ・日本に居住し、募集要項を送付した大学・機関に所属していること。 ・常勤で所属機関に正式に雇用されていること。 ・助教相当以上であること。 ・主体的に研究を行っていること。 ※自然科学系では「40歳以下の若手研究者」の応募を優先。 ・日本の大学・大学院・研究機関に学生・教員・研究員として在籍する者 ・日本国籍を有する者(海外在住者は除く) ・日本に永住を許可されている者 ・修士・研究士・大学院等において研究を進めるに十分な学力を有する者 ・2019年4月1日時点で年齢40才未満他の奨学金を受給していない者 ※他条件あり。HP参照のこと。 国・公、私立の大学、研究所、病院などの研究機関において、本成事業の趣旨に沿った研究に従事しているもの。 但し助成課題については (1)選考委員及び本財団から過去5年以内に助成を受けた方は対象外 (2)助成を受けた方と同教室内で類似テーマでの申請は不可 (3)応募は、1教室(1研究室)から1課題 (4)課題2は、満45歳以下(昭和48年(1973年)8月1日以降生まれ)の研究者が対象 (5)企業との共同研究は対象外 わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者 大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者	【特別研究課題】1件につき100万円以内 【一般研究課題】1件につき50万円以内	必着	https://www.hitodoku.or.jp/zenshuai/topics/2019/12026_01.html
60	2019/7/20	(公財)福盛財団	2020年度福盛研究助成	自然科学系、人文・社会科学系	100万円/件	17時 要推薦	https://www.inamori-for.jp/inamori/grants/about/	
61	2019/7/22	(公財)松下幸之助記念財団	2019年度松下幸之助国際カララッシュ(留学研究助成)	アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の大学・大学院及び政府研究機関に所属する調査研究(※詳細はHPを参照)	支給期間:学部生9～12ヶ月、院生:研究機関に在籍1～2年 奨学金:月額14万円 旅費:1往復分	必着 院生可	http://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/works/ign/promotion_jan_01.htm	
62	2019/7/31	(公財)鈴木謙三記念医療科学応用研究財団	令和元年度調査研究助成	課題1:より豊かな生活に貢献する医療技術に関する研究 (1)日常生活活動・機能の非侵襲的な測定装置の開発 (2)QOLの向上を目指した医療技術の開発 課題2:生活習慣病における医学、薬学の萌芽的研究 (1)病態の解明と病態モデルの開発 (2)生理活性物質と創薬に関する研究	課題1:1件につき500万円 課題2:1件につき300万円	消印有効 ※所属機関長の推薦が必要	https://www.suzukikenzan.or.jp/boyou/index.html	
63	2019/7/31	(公財)藤原科学財団	2020～2021年開催藤原セミナー	自然科学の全分野	1件12,000千円以内(総額24,000千円以内)	必着	https://www.fujizai.or.jp/download.htm	
64	2019/7/31	(株)リハネス	第45回リハネス研究費 老化制御研究賞	生物の老化機構あるいは老化に伴う体内の変化に関する研究	研究費上限50万円	24時締切 学部生・大学院生可 必着 詳細はHP参照	https://r.lns.jp/2019/06/01/45th-agnc/	
65	2019/7/31	(公財)リソナアジア・オセアニア財団	2020年度助成事業「研究者研究助成/国際学術交流助成/出版助成」	アジア・オセアニア諸国・地域に関する人文・社会科学分野(社会、文化、歴史、政治、経済等)の調査・研究活動や国際会議等の国際交流活動、出版等の啓発・広報活動等に対して助成 ①調査研究助成:個人研究または共同研究 ②国際学術交流助成:国際会議、シンポジウム等開催助成、研究者交流助成(人材招聘、派遣等助成) ③出版助成:調査研究成果にかかわる出版助成、および出版に準ずる広報活動への助成	①②③共通 日本の大学または研究機関等の所属者から推薦を得られる方 ①のみ: 2020年4月1日時点で、39歳以下(原則)	①助成期間:1年もしくは2年 助成金額:50万円～100万円(共同研究は50万円～200万円) ②助成期間:1年間 助成金額:50万～200万円 ③助成期間:1年 助成金額:50万～120万円		https://www.resonance.or.jp/project/promotion_application.html
66	2019/7/31	(株)リハネス	第45回リハネス研究費 大正製薬ヘルスケア・ビューティーケア賞	人々の健康と美に寄与するあらゆる研究 (本能・感性・五感に関する研究、情報工学・人間工学・行動科学、認知科学・生命科学、機能性素材、処方設計・製剤技術など、あらゆる分野からのアプローチを募集) 研究世界の地図を描き、新たな知見への道筋を切り出すためのあらゆる研究 (日本の研究.comを活用することで実現する「研究者と新たな知識の連携」をテーマとしたあらゆる研究)	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者	研究費上限50万円	24時締切 学部生・大学院生可	https://r.lns.jp/2019/06/01/45th-taishopharma/
67	2019/7/31	(株)リハネス	第45回リハネス研究費 日本の研究.com賞	日本の研究.comを活用することで実現する「研究者と新たな知識の連携」をテーマとしたあらゆる研究	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者	研究費上限50万円	24時締切 学部生・大学院生可	https://r.lns.jp/2019/06/01/45th-research.com/
68	2019/7/31	(公財)法人発酵研究所	2020年度(1)一般研究助成、(2)大型研究助成、(3)若手研究者助成、(4)寄付講座助成	(1)下記①②③ (2)下記④⑤ (3)下記⑥ 研究課題①微生物の分類(分離、分類、保存) 研究課題②微生物の基礎研究(生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など) 研究課題③微生物の応用研究(発酵、生理活性物質、プロバイオティクス、環境保全、バイオエタノールなど) 課題④については、応募時にキーワード2つ以内選択	(1)日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行っている個人、それぞれ年間500万円以上、大型については1,000万円以上の助成金・研究費を受けることが確定している場合は除く (2)助成開始時に日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行う個人。2020年4月1日現在、満35才以下の者。助成期間中、他からの助成金・研究費を受けないこと。 (3)日本の国立大学、公立大学、私立大学のいずれかに関する部局(研究所、学部または研究科)★寄付講座助成については、応募前に所属先に相談してください	(1)一般研究助成:300万円、大型研究助成:1000万円 (2)300万円 (3)2億円	http://www.fbr.or.jp/research/info.html	
69	2019/7/31	(公財)福盛財団	2020年度福盛科学研究機構フェロシップ	基礎科学分野(2020年度は「量子」)	1,000万円/件×10年間	17時まで 要推薦。1機関上限3件に付、応募予定者は7/23(火)までに研究開発センターへ小金井事務課に連絡 院生(修士・博士後期)応募可	https://www.inamori-for.jp/inarc/	
70	2019/8/9	(一社)ヤンマー資源循環支援機構	2020年度事業	(1)資源循環型の持続可能な農林水産業の取組み (2)農林水産資源の活用 ※資源循環型社会の実現に資する基礎研究、技術開発、実証等(※詳細はHPを参照)	1.大学、研究機関、教育機関等において研究活動に従事している方 2.大学院修士課程または博士課程に在籍される方(営利企業等およびその関係者は対象外) 37才以下(令和2年4月1日現在)	一般:1件あたり150万円まで 学生:1件あたり50万円まで(総額2,000万円程度の予定)		https://www.yanmar.com/jp/shigenkan/ga/ga_application/guidelines.html
71	2019/8/23	(公財)中島記念国際交流財団	令和2年度 日本人若手研究者研究助成	①情報科学②生命科学	1件500万円以内(総額5千円以内)	17時まで ※郵便以外での応募は無効	http://www.nakajimaifund.or.jp/kyoubu.htm	

No	法人種別	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
72	2019/8/23	パワアカデミー事務局	2019年度パワアカデミー研究助成 ①特別推進研究 ②萌芽研究 (個人型・チーム型共同研究・博士課程学生枠)	①「パワアカデミー研究マップ」に関連した独創的、先駆的かつ電気工学分野への波及効果が期待できる研究 ②「パワアカデミー研究マップ」に関連した電気工学分野の将来展開を見据えた研究 ※その他詳細はHPを参照	①日本国内の大学または高等専門学校に所属する常勤の教員で、異なる学校に所属する複数人からなるチーム。 ②(個人型・チーム型) 日本国内の大学または高等専門学校に所属する常勤の教員もしくは博士後期課程に在籍する学生(チーム型の場合、異なる専門分野に従事する複数人(最大4名)) 【博士課程学生枠】2020年度日本国内の大学の博士後期課程に在籍中または在籍予定で、リサーチアシスタントとして雇用されることができ、期間中研究を継続できること(原則2020年2月から1年間)	①1000万円程度×1件 ②(個人型・チーム型) 上限100万円/人・チーム(15件程度) (チーム型の場合、チーム関連携の別添20万円を加算) 【博士課程学生枠】上限100万円(RA雇用費として助成額の50%(上限)を計上すること)/人(5件程度)	※院生(博士課程(後期))可。ただし、2019年8月2日までに申請書を研究開発センターへ提出し、内容の確認を受けること。 15時締切(電子メールによる応募)	http://www.power-academy.jp/info/2019/002331.html
73	2019/8/25	(公財)フジシールパッケージング教育振興財団	2019年度パッケージング研究助成事業	パッケージに関わる研究 特に、パッケージにおける環境対策の研究、パッケージに関する認識や研究活動に新たな広がりや深みをもたらすことが期待される研究を優先的に対象とする。	①主たる勤務先が国内の大学とその附属研究所、大学共同利用機関、公的研究機関であること ②上記の機関に所属し、主体的に研究をすすめている原則常勤の研究者、職務専念義務上、外部研究費の高給にかかわる制約がないこと ③当財団からの研究助成を所属機関が研究費として管理する前提のもとに、所属機関が応募を承諾していること ④当財団に対して同一年度に複数の応募申請をしていないこと ⑤国内居住者 ※詳細はHPを参照	助成金総額3,000万円 合計10件程度 ※100万円～500万円の範囲で助成希望額を申請のこと(100万円単位)		http://www.fujiseal.co.jp/foundation/support/index.html
74	2019/8/26	朝日新聞文化財団	2019年度朝日賞	人文や自然科学など、わが国のさまざまな分野において傑出した業績をあげ、文化や社会の発展、向上に多大な貢献をされた個人または団体	年齢・国籍制無し 特に人文の領域では、この1年あるいは近年の顕著な業績を重視して選考。	正賞のプロズ像と副賞1件500万円	学内締切:2019年7月31日(水) ※所定の推薦票は研究開発センター市ヶ谷事務課が管理。 ※本学から推薦できるのは、人文、自然科学それぞれの領域につき原則1名(最大2名)のため、候補者多数の場合は、学内選考します。	http://www.asahi.com/shimbun/award/asahil/
75	2019/8/30	(公財)加藤記念バイオサイエンス振興財団	第31回(2019年度)国際交流助成	2019/4/1～2020/3/31の期間に、海外で開催されるバイオサイエンス分野の学会・シンポジウム等での研究成果の発表	応募締切日に35歳以下の、日本国内在住の研究者(外国籍含む)	渡航地域により10万円～30万円 年間予算総額750万円程度(上期下期合わせて35件程度) ※本学は、機関管理ではなく個人管理で構いません。	募集期間:上期:2019/11/4～2/28 下期:2019/7/1～8/30 大学院生可 ※1推薦あたり、2名以上の推薦は不可のため、推薦を受けたい者は、推薦者に相談のこと。	https://www.katoken.jp/applications/3 http://zoku.zyo.net
76	2019/8/30	(一財)全国勤労者福祉・共済振興協会(全労共済)	2019年度公募委託調査研究	「とくに支えあう社会をめざして」をメインテーマとする勤労者の生活の向上に寄与する調査研究。必ず以下の(1)～(3)いずれかの視点からアプローチ(考察)すること。 (1)共済・保険等の果たす役割 (2)協同組合・相互扶助組織の果たす役割 (3)社会保障が勤労者福祉に果たす役割	主たる研究拠点が日本国内にあり、下記のいずれかに該当する日本語での申請書・報告書の作成と報告が可能なる研究者。 ・学校教員法に基づく大学及び附属研究機関等に所属する研究者 ・研究機関に所属する研究者 ・大学院博士後期課程在籍者	1件あたり100万円を上限とし、採用件数は3以内としします。	17時締切 ※院生(博士課程(後期))可	https://www.zenrosai-kyokai.or.jp/thinktank/research/assistance/
77	2019/8/30	(公財)NEC C&C財団	2019年度後期 国際会議論文発表助成	海外で開催される国際会議においてC&C(Computers&Communications)分野の研究者を対象に、その会議に出場するための渡航費用等を補助する。 【カテゴリ1】投稿論文発表への助成 【カテゴリ2】研究中の博士論文やテーマをもとに、参加者たちとの協同的な討議を行う国際会議PhDフォーラム等への参加に対する助成 ※C&C分野(情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術及びこれらの技術の融合した技術分野)、及びその関連技術(詳細はHPをご確認ください)	①国際会議参加時に日本の大学及びこれに準ずる教育機関に在籍している大学院生(原則40歳以下) ②国際会議(査読取扱いをセクション付、海外開催)での採用が原則として決定していること。採用未確定の段階でも応募可能だが、諸条件あり。 ③投稿論文の場合は、筆頭筆者でかつ発表者であること ④参加する国際会議は原則学会等の学術団体が主催、協賛、後援すること ⑤経済的必要性が高いことを原則とし ※詳細はHPを参照	(1)応募件数は、1名につき1件。カテゴリ1との同時応募も不可。 (2)1件当たりの助成額は12～25万円、開催地などによる。 (3)同一の推薦者(＝同じ研究室)から同一の国際会議への応募は原則1名。 ※その他はHPを参照。	メールのみ受付(郵送不可) ※指導教員からの推薦票	http://www.candc.or.jp/yose/yose_kokusei.html
78	2019/8/30	(公財)旭硝子財団	2020年度研究奨励	若手研究者による基礎的、萌芽的な研究提案を支援	国内の大学とその附属研究所、大学共同利用機関、高等専門学校に勤務し、主体的に研究を進めている原則常勤の研究者。任期付研究者の場合、当財団の1974年以降生まれ。	助成額:200万円以内/件 研究期間:1～2年間		http://www.af-info.or.jp/subsidy/abou.html
79	2019/8/30	(公財)味の素食文化センター	2019年度食文化研究助成事業	①食文化に関する研究を対象とし、人文・社会科学の研究に限らず、自然科学分野で食文化に関する研究(但し、食品や医薬品などの開発を目的とするものは除く)も含む。 ②食文化に関する認識や研究活動に新たな広がりや深みをもたらすことが期待される研究を優先的に対象とする。	①原則として2020年4月1日時点で40歳前までの若手研究者であって、しるべき研究者から推薦がある方(国籍不問。日本国内に居住する研究者で日本語での報告書作成や成果発表が可能であること) ②個人研究対象とするが、共同研究者のあることを妨げない	1件当たり100万円程度、総額700万円程度	要推薦書	https://www.yokukou-nka.or.jp/research/
80	2019/8/31	(株)リハネス	第45回リハネス研究賞 吉野家賞	顧客への付加価値を向上させるためのあらゆる研究(ロボット、データサイエンス、情報通信、XR、コミュニケーション、薬学、医学、材料工学、電子工学、人間行動学、心理学、経済学、デザイン)もとの、幅広い科学・技術分野の研究	国内の大学・高等専の学校、研究機関に常勤し、対象となる構成員に研究者または常勤する研究者を中心とし構成される研究グループ	研究費50万円・店舗等を研究・実証試験フィールドとして提供	24時締切 学部生・大学院生可	https://r.lna.st/2019/06/01/45th-yoshinaga/
81	2019/8/31	(一財)日本国土開発未来研究財団	2019年度学術研究助成事業	SDGs(持続可能な開発目標)の課題解決に貢献できる研究及び事業。今年度は次の4テーマ。 ①都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にするテーマ ②強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに技術革新の拡大を図ることができるテーマ ③全ての人々に手頃で信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保できるテーマ ④全ての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保できるテーマ	国内の大学・高等専の学校、研究機関に常勤し、対象となる構成員に研究者または常勤する研究者を中心とし構成される研究グループ	1件1年当たり50万円を上限。本年度の助成件数は5～6件程度を予定。	必着	https://www.jdc-miraiaidan.or.jp/guide/gakujutsukenkyu.html
82	2019/8/31	(公財)リソアニアプロジェクト助成	2020年度環境プロジェクト助成	アジア・オセアニア諸国や地域における豊かな緑ときれいな水を守る事業で、財団助成助成に当たった内容のもの。ただし、該当地域ですでに萌芽的な活動が行われ、応募者がすでに何らかの形で活動に関与しているものに限る	以下の2要件を満たすこと (1)日本の大学(しは環境保全活動や支援活動を行っている団体、会社等に所属する方からの推薦が得られる個人(原則として、教授、組織代表、役員クラス) (2)活動地域(アジア・オセアニア地域)の現地において、当事業の共同事業者(協力者がいること)原則として「日韓を生活・活動の拠点とする者」で、国籍は不問	助成期間:1年～3年 助成金額:50～100万円程度/年	必着 詳細はHP参照	http://www.resoan-aa.or.jp/project/awards/ment_application.html
83	2019/8/31	(公財)韓昌祐・哲文化財団	2019年度助成	日韓に関わる文化・芸術・歴史・社会・スポーツ・学術・国際交流	国内の大学とその附属研究所、大学共同利用機関、高等専門学校に勤務し、主体的に研究を進めている原則常勤の研究者。任期付研究者の場合、当財団の1974年以降生まれ。	助成総額1500万円(上限) 個人・団体問わず、1件の助成金の範囲は、20万円～200万円を参照	消印有効 電子申請の場合の締切は18時迄。 オンラインのみ受け付け http://soap.ssrcc.or.jp	https://www.hanchan-hoon-tetsu.or.jp/
84	2019/9/1	米国社会科学部研究評議会(SSRC)東京事務所	安倍フェロシップ・プログラム個人研究プロジェクト公募	対象プロジェクトは次の4テーマのいずれか1つ以上に該当する社会科学ならびにその関連領域の研究 ①個人・社会・国際的安全保障に対する脅威 ②成長と持続的発展 ③社会・科学・文化のトレンドと変容 ④ガバナンス、エンパワーメントと市民参加	日本国籍または米国市民権の保有者。もしくはその他の国籍保有者で日本または米国に長期にわたる研究拠点を有する者。 その他の申請資格はHPを参照	研究期間:2～4年 1件の助成額は、1年度当たり100万円、2年間で200万円を上限。	必着 ※料研費・育児休業給付などを支給していても応募可	http://www.jpifc.org/c/ga/follow/faq/guide/
85	2019/9/3	(一財)民間都市開発推進機構	令和元年度都市再生研究助成	都市の再生に関する研究。 専攻分野や研究方法については、狭義の都市計画、建築等の分野に限らず、広範囲の専攻分野を対象。 ①建築・都市分野 ②人文・社会科学分野 ③環境フィールド研究分野	国内の大学の学部、大学院又は付属研究機関における研究室等の組織を対象とする。 研究の助成研究責任者は上記の組織に所属する昭和44年1月1日以後の生まれの研究者とする。	研究期間:1～2年間 ①助成額:50～150万円/件 ②助成額:50～100万円/件 ③助成額:50～100万円/件 研究期間:1～2年間		http://www.minto.or.jp/products/assst2.html
86	2019/9/6	住友生命保険相互会社	第13回来往を強くする子育てプロジェクトSセイ女性研究者奨励賞	現在、育児のため研究の継続が困難な女性研究者および、子育てをしながら研究を続けている女性研究者による、人文・社会科学分野領域の研究テーマ	①人文・社会科学分野の領域で、有意義な研究テーマを持っている ②原則として、応募時点で未就学児の育児を行っている ③原則として、修士課程資格取得者又は、博士課程在籍・資格取得者 ④2名以上の推薦者がある(うち1名は、従事した、または従事する大学・研究所等の指導教官または所属長であること) ⑤現在、大学・研究所等に在籍しているが、その意向がある ⑥支援を受ける年度に、他の顕彰制度、助成制度で個人を対象とした研究助成を受けていないこと(※) ⑦家族を含むコミュニティが可能なこと	1年間に100万円(上限)を2年間で支給(10名程度)		http://www.sumitomo-life.co.jp/about/csr/co_munmyu/mirai_child/women/
87	2019/9/13	(公財)旭硝子財団	2020年度サステイナブルな未来への研究助成	持続可能な社会の実現や地球環境問題の解決を目指した研究提案を支援 ①建築・都市分野 ②人文・社会科学分野 ③環境フィールド研究分野	国内の大学とその附属研究所、大学共同利用機関、高等専門学校に勤務し、主体的に研究を進めている原則常勤の研究者。任期付研究者の場合、当財団の1974年以降生まれ。 【提案研究】基礎的・萌芽的研究を中心として広く研究者のアイデア提案を支援するコース。1974年以降生まれ。 【発展研究】基礎的な研究成果をもとに、さらに発展させる支援と研究するコース。提案研究コースの採択実績不問。	【提案研究】 ①助成額:50～150万円/件 ②助成額:50～100万円/件 研究期間:1～2年間 ③助成額:50～100万円/件 研究期間:1～2年間 【発展研究】 ①助成額:200～400万円/件 研究期間:2～4年間 ②助成額:200～300万円/件 研究期間:2～4年間 ③助成額:200～400万円/件 研究期間:2～4年間		http://www.af-info.or.jp/subsidy/abou.html
88	2019/9/16	(公財)高橋産業経済研究財団	助成金 (1)一般公募 (2)推薦応募	下記の分野・活動を対象(ただし産学共同研究テーマは対象外) ①災害対策分野②環境問題分野③資源分野④医学・医療分野⑤地域社会分野⑥国際交流・人材育成分野の科学技術・産業開発分野	大学・高等専の研究者又は、民間の研究機関・団体が推進しているプロジェクト活動の代表者	応募テーマに対して単年度あたり100～200万円。	(1)7月21日より9月16日 (2)10月11日より11月30日	http://takahashi-ecf.jp/entry/index.shtml

No	法人種切	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
89	2019/9/20	(公財)全国銀行学術研究振興財団	2019年度学術研究助成事業	①研究活動に対する助成 ②研究成果の刊行に対する助成 ※①②とも、経済・金融およびこれらに関する法制に係る研究(経済分野では経済理論、経済統計学、経済政策、経済史、財政学、金融論およびこれらに準ずるもの、法律分野では民法、商法、経済法、その他の金融・経済に関する法律)	①②共通: 60歳未満(2019年12月末現在)の日本の大学の教授、准教授、専任講師、助教の研究、またはこれらの研究者による共同研究(共同研究者には大学院生、外国の大学に在籍している外国人研究者を含む)。 ③のうえ、 ④なお、若手研究者が行う研究で、わが国の金融・経済に関する現下の重要課題に係る研究を優先的に助成。 日本国内に拠点をもち、3年以上の活動・研究実績を持つ、下記①～③のいずれかに該当する団体。 ①特定非営利活動法人(NPO法人) ②公益法人 ③大学、高等専門学校 ※活動地域は日本国内、海外いずれも可。 ④は公的研究機関も国内の国立私立大学、公的研究機関等に所属する研究者。複数の研究者の参加によるテーマの可。	①1件100万円以内、共同研究は1件150万円以内、助成総額2,500万円程度 ②原則として1件150万円以内、かつ刊行費用の半額以下、総額400万円程度	必需	http://www.jade.dti.ne.jp/bankfund/
90	2019/9/24	三井物産株式会社	三井物産環境基金(1)2019年度活動助成(2)2019年度研究助成(※詳細はHPを参照)	(1)地球環境問題の解決と持続可能な社会構築に貢献する様々な実践的な活動 (2)地球環境問題の解決と持続可能な社会構築に貢献し、具体的な提案を含む、学際的な問題解決型研究。 (※詳細はHPを参照)	実証的・実践的・国際的な視点を持ち、3年以上の活動・研究実績を持つ、下記①～③のいずれかに該当する団体。 ①特定非営利活動法人(NPO法人) ②公益法人 ③大学、高等専門学校 ※活動地域は日本国内、海外いずれも可。 ④は公的研究機関も国内の国立私立大学、公的研究機関等に所属する研究者。複数の研究者の参加によるテーマの可。	上限なし。 但し、案件の効率的な実施に必要と認められる金額の範囲内。	24時(電子メールでの申請のみ受付)	https://www.mitsui.com/jp/sustainability/communication/mission/ment/fund/application/index.html
91	2019/9/28	AGC(株)	2019年度公募型産学共同研究募集(AGCリサーチコラボレーション制度)	AGC社の技術ニーズまたはシーズに関連し、学術的インパクトが大きい応用市場開拓の可能性のある共同研究テーマ。 原則2020年4月から1年間、「エンテリコラボ(EC)」として共同研究を実施し、ECを進めながら、AGC社の技術ニーズまたはシーズと強くマッチングした場合には、新たな契約の元で「ステップアップラボ(SC)」として、更に2～3年間の大型共同研究を行う場合あり。 (※詳細はHPを参照)	①45歳未満の者(2020年4月1日現在) ②日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者 ③学術部門は2017/8～2019/9に刊行された学術書(著書)があること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	「エンテリコラボ」(EC)期間200万円以内 「ステップアップラボ」(SC)期間2千万円以内、最長3年間で総額6千万円以内を目安	Web申請	http://www.agc.com/interlab/collaboration/
92	2019/9/30	(公財)三島海雲記念財団	第9回三島海雲学術賞	(1)自然科学部門(食品科学に関する研究(食の素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防等に係る研究を対象。)) (2)人文科学部門(アジア地域の歴史を中心とする人文科学に関する研究(但し、日本を中心とする研究は除く)) (※詳細はHPを参照)	①45歳未満の者(2020年4月1日現在) ②日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者 ③学術部門は2017/8～2019/9に刊行された学術書(著書)があること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	賞状並びに副賞200万円	学内申込可 2019/9/13(金)迄※希望者は9/13までに申し出てほしい。書類提出9/20迄	https://www.mishima-kan.or.jp/arts/
93	2019/9/30	(公財)人工知能研究振興財団	第30回令和元年度人工知能研究助成	人工知能及び関連技術分野(人口知能を活用した情報処理技術、情報通信技術等)の高度化に関する調査、研究及び開発 (※詳細はHPを参照)	人工知能に関する調査、研究及び開発並びに人工知能関連技術の高度化に関する研究を行う企業、及び教育・研究機関・その他団体の研究グループ・個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 2奨励賞の投資対象は原則として、学術誌等に発表されたものとする。なお、過去に当該研究助成の投資対象となった学術論文および特許情報は対象外。 ①助成開始時(2020年4月または2020年10月)に日本国内の大学院または同等の機関の博士後期課程に在学中のこと。 ②外国人で、上記C&C分野及びその関連技術の研究に携わっている研究者であると(原則として40才以下)。 ③研究内容が優れていること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	1テーマにつき100万円まで	必需	http://www.airfp.or.jp/josei.html
94	2019/9/30	(公財)日本ビフィズス菌センター	日本ビフィズス菌センター研究奨励賞	日本ビフィズス菌に関する応用分野(国内細菌学・腸管免疫学・感染症予防学・プロバイオティクス・プレバイオティクス等)において、学術上または産業上将来の発展を期待し得る優秀な研究業績をあげた個人に対し授与 (※詳細はHPを参照)	①45歳未満の者(2020年4月1日現在) ②日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者 ③学術部門は2017/8～2019/9に刊行された学術書(著書)があること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	賞状と副賞(10万円)		https://hibidok.fund.jp/shours/index.html
95	2019/9/30	(公財)NEC C&C財団	2020年度外国人研究員助成	C&C分野及びその関連技術 ※C&C分野とは、情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術およびこれらの技術の融合した技術分野という ※関連技術とは、C&C分野の応用技術全般を含む。 ※推薦書内に、助成候補者の研究がどのようにC&Cの発展に貢献するかを記載する。	①助成開始時(2020年4月または2020年10月)に日本国内の大学院または同等の機関の博士後期課程に在学中のこと。 ②外国人で、上記C&C分野及びその関連技術の研究に携わっている研究者であると(原則として40才以下)。 ③研究内容が優れていること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	1件あたり月額12万5千円	メールのみ受付(郵送不可)	http://www.candc.or.jp/yusei/yusei_gakobu.html
96	2019/9/30	(公財)加藤記念バイオサイエンス振興財団	第31回(2019年度)研究助成	バイオサイエンスの基礎分野 (1)メカニカルサイエンス分野 (2)バイオテクノロジー分野 (3)環境バイオ分野	①45歳未満の者(2020年4月1日現在) ②日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者 ③学術部門は2017/8～2019/9に刊行された学術書(著書)があること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	(1)②1件あたり200万円を2件程度 (3)1件あたり100万円を4件程度	学内締め切り 2019/9/17(火)までに所属キャンパスにて所属研究員より申請書一式を提出の上、(所属機関の推薦が必要かつ推薦枠が限定的なため)	https://www.katokine.or.jp/applications/41ken_eyo.html
97	2019/9/30	(公財)江野科学振興財団	第31回(2019年度)研究助成	ゴムを主体とする高分子化学及びこれに関連する分野の基礎研究、応用研究及び開発研究並びに化学、物理、機械、電気などの学術的研究 (1)一般研究助成 (2)田中康之ゴム科学賞 (3)ゴムの科学技術(化学、生化学、物理学、工学)における若手研究者の育成に優れた研究	①45歳未満の者(2020年4月1日現在) ②日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者 ③学術部門は2017/8～2019/9に刊行された学術書(著書)があること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	助成金総額900万円以内 (1)一般研究助成:200万円を1件、100万円を5件以内 (2)田中康之ゴム科学賞:200万円を1件	消印有効 (2)賞(博士後期課程)応募可 要機関推薦。	https://www.kokoku-fun.com/social/foundation/bosyu.html
98	2019/9/30	(公財)沖縄協会	第41回沖縄研究奨励賞	沖縄を対象とした将来有望な優れた研究(自然科学、人文科学、社会学)	学協会・研究機関若しくは実務のある研究者から推薦を受けた50歳以下(2019年7月1日現在)の方で、出身地及び国籍は不問 自属は不可 「大賞」以外の2部門についての推薦を受け付け	奨励賞として本賞並びに副賞として研究助成金50万円	当日消印まで有効	http://www.okinawakyokai.jp/publics/index/49/
99	2019/9/30	(公財)日本教育公務員弘済会	令和2年度日教弘本部奨励賞	令和2年度に行う、初等中等教育及び幼児教育の向上発展に寄与する全国規模の有益な研究・活動等	公立私立大学、大学院、短期大学、高等専門学校名等の教育機関に所属している教職員、大学院生	1件あたり100万円以内	※大学院生可	http://www.nikkyo.or.jp/education/education.html
100	2019/9/30	(一財)向科学技術振興財団	令和元年度研究助成	物質の分離技術の分野における素材、技法の基礎研究に対する助成	研究者であれば、個人またはグループを問わず。原則として50歳まで。(※研究者には学生及び大学院生は含まれない) ①大学、研究機関等に所属する研究者。(但し学生は除く。) ②異なる大学、研究機関等に所属する研究者による共同研究も可とする。 ③賞利法に所属する研究者等は対象になりません	1件150万円以下、8件程度	消印有効	http://www.muikai-zaidan.or.jp/arnai.html
101	2019/9/30	(一財)高久国際奨励財団	令和2年度研究助成	(1)国内外における日本の文化・芸術及び教育に関する調査・研究および出版物を対象。 (2)調査・研究に直接要する費用を助成。(カメラ、パソコン、書籍購入費用は除く。)	①45歳未満の者(2020年4月1日現在) ②日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者 ③学術部門は2017/8～2019/9に刊行された学術書(著書)があること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	調査・研究および出版物の内容・規模によって異なる。(2019年度は3件、30～440万円)	当日消印有効 要推薦書	http://www.tabaku-foundation.com/
102	2019/9/30	福岡アジア文化賞委員会	第31回及び第32回福岡アジア文化賞(対象地域:東南アジア・南アジア)	【大賞】 アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に貢献し、その国際性、普遍性、大衆性、独創性などにより、世界に対してアジアの文化の意義を示した個人または団体 【学術研究賞】 アジアを対象とした人文科学、社会科学等の領域における優れた研究成果により、アジアの理解に貢献するとともに、今後さらに活躍が期待される個人または団体 【芸術・文化賞】 アジアの固有かつ多様な芸術・文化の育成又は発展に貢献するとともに、今後さらに活躍が期待される個人または団体 (※詳細はHPを参照)	国内外の個人または団体 国籍不問 自属は不可 「大賞」以外の2部門についての推薦を受け付け	【大賞】 賞金:600万円 【学術研究賞】 賞金:300万円 【芸術・文化賞】 賞金:300万円	必需 自属不可	http://fukuoka-prize.org/nomination/
103	2019/9/30	(公財)前川報恩会	2019年度学術研究助成	【環境・エネルギー・食料】に関する研究に於いて、下記の分野を対象とする。 (1)食料・食品の生産・加工・流通・保存・備蓄に関する研究 (2)食料・エネルギーに関する研究 (3)環境保全・地球温暖化防止・エネルギーの変換・貯蔵・輸送に関する研究	(1)日本国内の大学・大学院、高等専門学校に所属する常勤の研究者(学生・研究生は不可) (2)応募締切時において45歳以下 (3)博士号取得後、且つ、研究の場を確保し、独自のテーマで主体性を持って研究を遂行できる方。 (4)研究者代表として、申請内容に関する学会発表または論文投稿を行う予定がある方。 (5)企業との共同研究を予定されている研究課題に対しては助成不可。 ①助成金の対象となる事業を完遂する見込みがあること ②事業の会計・経理が明確であること ③団体の場合:研究、活動の場が日本国内であること。また、一定の規約を有し、活動歴が3年以上あること ④個人の場合:東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県に居住し、今後も居住する見込みであること又は、研究活動の場が上記4都県であること 2020年1月1日～6月末の間に研究成果を本財団研究奨励賞として財団指定の出版社から出版されるものに 限る。 出版物の仕上り上限はA5版横書き350ページ以内、次に該当し、2019年12月1日～翌年11月末日の間に出版、又は招聘を予定している者。 (7)日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生。ただし、大学院生は招聘への応募不可) (8)国際研究交流を行うのに充分な語学力を有する者 ※その他の条件は、HPを参照。	助成総額2,300万円(1件あたり最大300万円)	17時まで ※Web申請のみ	https://www.mayesaw-a.or.jp/category/grant-scientific_research
104	2019/10/4	(公財)ダイオーズ記念財団	2019年度調査研究助成金	内外に対して全ての人が安全に生き生きと働くことのできる社会環境に関する調査・研究を行う大学・研究所等における研究活動 (※財団の注力する主要な研究、活動分野の詳細はHPを参照)	①45歳未満の者(2020年4月1日現在) ②日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者 ③学術部門は2017/8～2019/9に刊行された学術書(著書)があること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	個人・団体1件100万円以内を1～3件程度	消印有効	http://www.daiosai-zaidan.jp/
105	2019/10/10	(公財)メルコ学術振興財団	2019年度第二次研究助成(出版助成)	管理会計学及び関連領域の研究結果の出版(翻訳書も含む) 原則として、採択された研究成果は、本財団の研究叢書として出版社から刊行	(1)研究助成A(研究者・博士後期課程大学院生) (2)研究助成B(博士後期課程大学院生) ※個人の申請の場合 日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生 ※研究グループ(共同研究)の場合 代表者については、日本の大学・研究機関に所属すること(大学院生は不可)。 任意の市民団体、NPO、町内会・自治会、学校などの公益団体・非営利団体に所属する者(共同研究不可) 指定管理業務者(指定管理業務者としてNPOの場合、指定管理業務者の内容は助成申請不可)	1件150万円を限度とし、総額150万円以内。	必需 ※要所属機関長の推薦	http://melco-foundation.jp/apply/publication/5206/
106	2019/10/10	(公財)メルコ学術振興財団	2019年度第二次研究助成(国際研究交流助成)	会計管理学の研究を促進するための次に該当する国際研究交流。 (7)大学院生学術派遣(1週間以内) (8)学会報告派遣(1週間以内) (9)短期派遣(3か月以内) (10)中期派遣(4～24か月以内) (4)招聘	(1)研究助成A(研究者・博士後期課程大学院生) (2)研究助成B(博士後期課程大学院生) ※個人の申請の場合 日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生 ※研究グループ(共同研究)の場合 代表者については、日本の大学・研究機関に所属すること(大学院生は不可)。 任意の市民団体、NPO、町内会・自治会、学校などの公益団体・非営利団体に所属する者(共同研究不可) 指定管理業務者(指定管理業務者としてNPOの場合、指定管理業務者の内容は助成申請不可)	(7)大学院生学術派遣:1件20万円程度、助成件数5件程度 (8)学会報告派遣:1件30万円程度、助成件数4件程度 (9)短期派遣:1件50万円以下、助成件数1件程度 (10)中期派遣:1件10万円/月、助成件数1件程度 (4)招聘は、1件50万円以下、助成件数1件程度。 (助成金額は総額400万円程度で、渡航費(往復)及び滞在費の一部を補助。	必需 院生可 ※要所属機関長の推薦(大学院生は上記に加え指導教員の推薦も必須)	http://melco-foundation.jp/apply/international/5205/
107	2019/10/10	(公財)メルコ学術振興財団	2019年度第二次研究助成(研究助成)	日本企業で実践されている、優れた管理会計実務の定式化又は理論化に関する研究並びにそれらを含む周辺領域に関する研究。特に管理会計技法、管理会計システム、事業継承システム、およびそれに関する管理システムを対象とする研究。	(1)研究助成A(研究者・博士後期課程大学院生) (2)研究助成B(博士後期課程大学院生) ※個人の申請の場合 日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生 ※研究グループ(共同研究)の場合 代表者については、日本の大学・研究機関に所属すること(大学院生は不可)。 任意の市民団体、NPO、町内会・自治会、学校などの公益団体・非営利団体に所属する者(共同研究不可) 指定管理業務者(指定管理業務者としてNPOの場合、指定管理業務者の内容は助成申請不可)	①研究助成A:1件30万円～200万円程度、助成件数10件程度 ②研究助成B:1件60万円程度×3年間、助成件数1件程度 助成総額850万円程度	必需 院生可 ※要所属機関長の推薦(大学院生は上記に加え指導教員の推薦も必須)	http://melco-foundation.jp/apply/research/5204/
108	2019/10/14	(公財)都市緑化機構	2019年度花玉・みんもの森づくり活動助成プログラム	以下のような、身近な緑を守り育てる活動、身近な緑の大切さを次世代に伝える活動 A.持続可能な森づくり活動 B.人づくり活動(環境教育活動) C.花と緑のコミュニケーションづくり活動 D.地域の生物多様性を守る活動 (※詳細はHPを参照)	①45歳未満の者(2020年4月1日現在) ②日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者 ③学術部門は2017/8～2019/9に刊行された学術書(著書)があること ④経済的に必要性が高いこと ⑤国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者で、(1)②は40歳以下、(3)は35歳以下。ただし、以下の例外を認める。 ・応募時点で妊婦・出産・育児休業を取得した者については一律年齢制限、介護休業を取得した者についてはその期間、性別不問年齢制限を延長。 ・博士号取得後10年以内であれば4歳以上の応募も可。 その他詳細はHP参照 大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者を対象。助成事業ごとの年齢制限あり。 (1)一般研究助成:研究者の年齢制限はない。 (2)田中康之ゴム科学賞:36歳未満の方(2019年4月1日現在)	2年間、各年50万円を上限で15～20回 継続団体分と合わせ総額2,000万円。	消印有効	https://urbangreen.or.jp/act/act_mimano.html
109	2019/10/15	(公財)中山雄雄科学技術文化財団	2019年度調査研究助成	ゲームの面白さや手法を使って、様々な社会的課題をみんなでゲームを通して解決していきけるような、新しいゲームの創生に関する次の2件の研究課題より1件を選択して研究企画書を作成のこと ①プログラミング的思考力育成ゲーム ②生活のゲームデザイン	国内の大学院・大学・短大・高等専門学校及び非常勤の研究者に所属する研究者又はこれらの機関に所属する研究者を代表とする共同研究グループ	700万円以内	院生(博士課程(後期))可。ただし、指導教員の推薦要。 ※財団HPより応募	http://www.nakayama-zaidan.or.jp/activity-sp_research01.html

No	法人種切	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
110	2019/10/15	(特非)高木仁三郎市民科学基金	高木仁三郎市民科学基金 助成選考委員選考	高木基金の助成選考委員1名 (現在7名のところに、1名を公募で追加する)	高木基金の活動に共鳴する方であれば、学歴、年齢、性別等不問。 (学識経験者や専門家といわれる方より、市民の立場や視点から、様々な社会問題の現場で活動された経験などをお持ちの方からの応募を期待。 国内の大学院・大学・短大・高等専門学校及び非常勤の研究機関に所属する研究者又はこれらの機関に所属する研究者を代表とする共同研究グループ	一年間の選考委員の業務全体について、謝礼5000円をお支払いします。 また、選考委員会、公開プレゼンテーション、成果発表会への参加に要する旅費・宿泊費などは実費を支給。 (1)助成研究A:総額2,800万円(1件あたり500万円)以内 (2)助成研究B:総額840万円(1件あたり100万円)以内 (3)国際交流:総額112万円以内	当日消印有効	http://www.takaifund.org/activity/2019_20 190910ac.html
111	2019/10/15	(公財)中山雄雄科学技術文化財団	2019年度助成研究	【研究助成】 (1)助成研究A:ゲームの分野の研究 ①重点研究 ②基礎的・基盤的研究 (2)助成研究B:「人間と遊び」に関する各種研究 (3)「国際交流(参加)」:遊び・ゲームに関する国際会議等への参加 ※対象の開催期間はHP参照	(1)2020年4月1日現在、大学院生あるいは所属機関等で非常勤または任期付若くは雇用研究者として研究活動に従事し、日本に居住する35歳以上。但し、海外に居住する研究者については雇用形態を問わず。 (2)教員、学芸員、司書、カウンセラー、指導員、市民活動・地域活動等の専門的立場にある方など。年齢不問。	(1)上層100万円/件 (2)上層50万円/件	但し(3)国際交流の募集期間は以下の通り ・第1回:2019/7/15~10/15 ・第2回:2020/1/15~4/15 ※院生(博士課程(後期)可。ただし、指導教員の推薦要)	http://www.nakayama-zaidan.or.jp/activity-grant01.html
112	2019/10/16	(公財)日本科学協会	2020年度笹川科学研究助成	①学術研究部門 人文・社会科学および自然科学(医学を除く)に関する研究。 ②実践研究部門 A.教員・NPO職員等が行う問題解決型研究 B.学芸員・司書等が行う調査・研究 ※部門とも「海」に関連する研究は重点テーマ。 ※詳細はHP参照	(1)2020年4月1日現在、大学院生あるいは所属機関等で非常勤または任期付若くは雇用研究者として研究活動に従事し、日本に居住する35歳以上。但し、海外に居住する研究者については雇用形態を問わず。 (2)教員、学芸員、司書、カウンセラー、指導員、市民活動・地域活動等の専門的立場にある方など。年齢不問。	(1)上層100万円/件 (2)上層50万円/件	申請期間:2019/8/17~10/16(23:59まで) ※Web申請のみ(※事前のユーザー登録) ①は、大学院生(修士・博士課程)可。	http://www.iss.or.jp/kusai/sasakawa/
113	2019/10/18	(公財)セコム科学技術振興財団	平成31年度挑戦的研究助成	本稿は、以下のテーマについて募集 ・情報技術と社会(サイバーフィジカルシステム、セキュリティ、人工知能) ・層層性を越えた生命基本原則、統合的アプローチ ・先端科学のELSI(社会・倫理・法的側面)	現に活発な研究活動を行っており、助成期間中継続的に研究を実施することのできる国内の大学等に所属する39歳以下(令和2年4月1日時点)の研究者	1件につき1年あたり最大300万円(助成期間は2年または3年間)	郵送のみ必着 ※要所属機関長の推薦	http://www.secomsci-dan.jp/challenge.html
114	2019/10/20	(公財)市村清新技術財団	①第52回市村賞:市村学術賞 ②第52回市村賞:市村地球環境学術賞 ③第2回地球環境研究助成	①[市村学術賞] (1)産業上貢献している、あるいは実用化の可能性のある理工学分野 (2)独創的・画期的で世界的に見ても高い水準にあるもの ②[市村地球環境学術賞] 地球温暖化防止に関する学術分野 以下①と同じ ③[地球環境研究助成] 地球温暖化防止に関わる研究開発テーマ ※詳細はHP参照	①[市村学術賞]②[市村地球環境学術賞] ・学術分野の進展に多大な貢献・功績のあった研究者 ・連名の場合は3名以内 ・申請者は日本の大学・研究機関の研究者 ③[地球環境研究助成] 大学・公的研究機関に所属する常勤の研究者	①本賞(原則1件):賞金2,000万円、功績賞(原則2件):賞金500万円、貢献賞(原則5件):賞金300万円 ②功績賞(原則1件):賞金500万円、貢献賞(原則2件):賞金300万円 特に顕著な研究業績があれば特別賞:賞金2,000万円 ③1件あたり500万円(3件程度予定)	郵送物は当日消印有効 ※①②は要所属機関長の推薦	http://www.sgbr.or.jp/download/
115	2019/10/31	(公財)喫煙科学研究財団	2020年度喫煙科学研究助成(特定研究)	喫煙(加熱たばこ等含む)に関する、独創性が高く学術上の意義が大きい科学調査研究を対象。 以下の2テーマに基づく課題について、組織や専門の枠を超えたグループによる協働研究を行うこと。 【2020年度 特定研究テーマ】 1. 脳機能における腸内細菌叢の役割解明と喫煙の作用 2. 喫煙の高齢者生活習慣(サルコペニア肥満・フレイル)に及ぼす影響 (※詳細はHPを参照)	大学、研究所および病院等に所属する専任の研究者 学生は、共同研究者として参加可。	助成期間は3年間を限度とし、1年当たり200万円目安を各テーマ5~7程度	※Web申請 ※要所属機関長の長による承認	https://www.srf.or.jp/category/project
116	2019/10/31	(株)リバネス	第46回リバネス研究費クボタイバージョンセンター賞	食料の改革に繋がる全ての研究 (農作物の省力化や精密化に限らず、農作物の加工、流通、販売も含めたフードバリューチェーンの革新、持続性向上に繋がる幅広い研究テーマを募集)	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 海外に留学中の方でも申請可 研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可	研究費上限50万円(若干名)	学部生、院生可	https://r.ln.st/2019/09/01/46th-kubota-innovationcenter/
117	2019/10/31	(公財)博報児童教育振興会	第15回児童教育実践についての研究助成	【こどもを育てる研究】 ①国語・日本語教育の諸分野における研究 ②あらゆる学級・場面におけるこどもの教育に関する研究 【児童教育実践の質を向上させる研究】 ①多様な場における教育実践の質を向上させる研究 (上記いずれも、対象は小・中学生、ただし児童教育への反映が明確な場合に限る。幼児教育、高校生に関する研究も可) ②アジア地域重点学術研究助成 アジア地域(中近東、シベリア等を含む)に関するもの(ただし特に限らない)	日本の大学・研究機関に所属する研究者(ただし若手奨励のため、教員やそれに相当する職は除く。) 日本の学校・教育委員会に所属する職に携わっている方	1年あたり1件につき200万円を限度 2年あたり1件につき300万円を限度 ※財団HPより応募	学生の場合は修士号取得以上 ※財団HPより応募	http://www.hakuhofofufoundation.or.jp/subsdy/taishi/15th/Default.asp
118	2019/10/31	(公財)八洲環境技術振興財団	2019年度研究開発・調査助成	(1)再生可能エネルギー等に関する技術開発 (2)グリーン燃料 (3)エネルギーの転換、輸送、貯蔵、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム (4)エネルギー材料、デバイス (5)環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の技術 (6)環境技術マネジメントの基礎研究	国・公・私立大学(専門設置または附属研究所を含む。)、及び高等教育機関に在籍する個人、またはグループの代表者	100万円/件	消印有効	https://www.yashindai.or.jp/aidan/entrance_application.php
119	2019/10/31	(公財)平和中島財団	2020年度国際学術研究助成	国際学術共同研究 特に限らないが、学術的な組織で行われる研究が望ましい。 ②アジア地域重点学術研究助成 アジア地域(中近東、シベリア等を含む)に関するもの(ただし特に限らない) ③社会的課題の解決に資するための知識統合・連携型研究(文理不問)	我が国の大学(含、大学院大学)・大学共同利用機関の研究者及び海外の大学・研究機関等の研究者からなる共同研究グループ。研究代表者は我が国の常勤研究者	①3件 1件につき500万円以内 ②21件 1件につき150万円以内 ※対象経費についてはHPを参照	消印有効 ※要所属機関長の承認、(学科長、学部長、研究所長等)	http://www.hrf.jp/jos/e/
120	2019/10/31	(公財)国際科学技術財団	2020年日本国際賞平成記念研究助成	国際学術共同研究 特に限らないが、学術的な組織で行われる研究が望ましい。 ②アジア地域重点学術研究助成 アジア地域(中近東、シベリア等を含む)に関するもの(ただし特に限らない) ③社会的課題の解決に資するための知識統合・連携型研究(文理不問)	1)年齢性別問わず、45歳程度までの人材の発掘を考えています。 2)個人あるいは少人数のグループの提案を奨励。 【基本区分】 ③ 国内の大学、公的研究機関、企業、市民組織等に所属し、助成期間を当該研究を継続できること。	1件500万円~1,000万円程度 x 4~8程度	メールにて受付 (kenkyusei@japanrip.jp/subsdy/yoko.html)	https://www.japanrip.jp/subsdy/yoko.html
121	2019/10/31	(公財)ヤマハ発動機スポーツ振興財団	2020年度(第14期生)YMFスポーツチャレンジャー研究助成	世界にはばたきたい人材育成を目的に、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する幅広い学問分野から、我が国のスポーツの普及・振興や競技水準向上につながる、自然科学・人文社会科学における学術的価値の高い学問・研究を目指す方を募集。	現在までの実績や今後の活動目標などを指標に2つのカテゴリーを設定 【基本区分】 助成期間中、大学や研究機関等で研究職として活動に専念する。40歳未満(※専攻)の学歴・経歴不問。 ※教授職または教授職相当の職位の方を除く。 【奨励区分】 助成期間中、大学院博士課程(博士後期課程)に在籍中または修士(学位未修得者を含む)のうち、満30歳未満(応募時)の方、国籍不問。 現に活発な研究活動を行っており、助成期間中継続的に研究を実施することができ国内の大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人に所属する59歳以下の研究者(令和2年1月1日時点)。助成期間は2020年1月1日から3年を基本とし、2年間も可とする。	【基本区分】 10件程度、上限120万円/件 【奨励区分】 5件程度、上限60万円/件	正人人力特許 ※指導責任者による推薦 ※博士後期課程学生を対象に含む	https://www.yamaha.jp/project/assist/14th/
122	2019/10/31	(公財)セコム科学技術振興財団	平成31年度特定領域研究助成	ELSI(Ethical, Legal and Social Issue)分野 ※詳細はHP参照	我が国の大学(含、大学院大学)・大学共同利用機関の研究者及び海外の大学・研究機関等の研究者からなる共同研究グループ。研究代表者は我が国の常勤研究者	1年あたり300万円(3年間900万円)を上限とし、数件程度	必着	https://www.secomsci-dan.jp/tokudai.html
123	2019/10/31	(株)リバネス	第46回リバネス研究費エネルギー・エコシステム賞	低炭素社会を実現させるあらゆる研究	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 海外に留学中の方でも申請可 研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可	研究費50万円(1名)	学部生、院生可	https://r.ln.st/2019/09/01/46th-energyecosystem/
124	2019/10/31	(株)リバネス	第46回リバネス研究費日本人賞	人と環境の未来を創る、食に関するあらゆる研究 (革新的な食料生産・タンパク質生産次世代型の農業・畜産・水産/食品加工・調理の新技術/食とスポーツによる健康増進/年代や体質に合わせた栄養/持続可能な食料生産を支える環境技術など、生産から消費の提案まで幅広い分野から募集)	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 海外に留学中の方でも申請可 研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可	研究費50万円(若干名)	学部生、院生可	https://r.ln.st/2019/09/01/46th-nipponham/
125	2019/11/8	(公財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団	第42回(2020年度)公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集	体育学、健康科学、人間工学、被服科学、運動施設工学等健康の増進・学術的向上に関する学術、およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究 ■課題学術研究 本年度テーマ ①暑熱環境下における快適性を実現する手法に関する研究 ②衣服内環境を快適にする温度をコントロールする手法に関する研究 ③運動後のリカバリーに有効なクールダウンを実現する手法に関する研究 ④運動時におけるウェアに関するシミュレーションシステムの構築 ■自由課題学術研究 財団の主旨に沿ったもの	体育学、健康科学、人間工学、被服科学、運動施設工学等健康の増進・学術的向上に関する学術、およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学、およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ	■課題学術研究 100万円~300万円/件、2~3件 研究期間0~3年 ■自由課題学術研究 最優秀入選100万円、優秀入選50万円 30件を予定	当日消印有効	https://www.descente.co.jp/shimoto/
126	2019/11/11	(公財)サントリー文化財団	若手研究者のためのチャレンジ研究助成	人文学、社会科学分野での若手研究者の支援を目的。 ・学術的・社会的に広がりのある研究 ・新しい学問的地平を切り拓こうとする意欲の高い研究 ・斬新な発想で取り組む、大きな展望を持った研究	①原則、2020年4月1日時点で博士前期(修士)課程修了以上の者で、35歳以下の若手研究者による個人研究 ②国籍・所属不問だが、書類作成、学際的な議論への参加が可能な日本語能力を持つこと。	1件あたり100万円を上限とし、15件程度	消印有効 ※差ししかるべき第三者からの推薦	https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/
127	2019/11/15	(一財)第一生命財団	2019年度研究助成	わが国の住宅、都市、土地に関し、経済、社会、法律、歴史、制度、計画およびこれらの複合的視点から、住生活の改善向上をはかるための研究	【一般研究】 大学・高等専門学校等の研究機関に専任または有期専任の身分で常勤として在籍し、研究活動に従事している研究者。(院生・専攻科生は不可) 【奨励研究】 一般研究に同じ。ただし申請時に40歳未満の若手研究者対象。 ①【研究機関に対する助成】 大学・高等専門学校等の研究機関ほか ②【一般研究者に対する助成】 大学・高等専門学校等に所属する研究者ほか ・2020年3月31日時点で満60歳未満(共同研究者含む) ③【若手研究者に対する助成】 大学・高等専門学校等に所属する研究者ほか ・2020年3月31日時点で満35歳以下(共同研究者含む) ※詳細はHP参照	1件当りの助成額 【一般研究】150万円以内 【奨励研究】80万円以内 総額1,000万円以内	消印有効	http://group.dai-ichi-life.co.jp/housing/hoshu.html
128	2019/11/15	(公)河川財団	2020年度河川基金助成 研究者・研究機関部門	防災・減災や河川・流域の視点から、治水・利水・環境に関する新たな科学的知見を得る取り組みや新技術の開発に向けた調査・研究を行う、研究機関等に助成。 ①【研究機関に対する助成】4区分 ・一般的助成 ・緊急災害調査 ・学術図書出版 ・アウトリーチ活動助成 A ②【一般研究者に対する助成】4区分 ・一般的助成 ・学術図書出版助成 ・アウトリーチ活動助成 B、C ③【若手研究者に対する助成】1区分 ・一般的助成 ※詳細はHP参照	①【研究機関に対する助成】 大学・高等専門学校等の研究機関ほか ②【一般研究者に対する助成】 大学・高等専門学校等に所属する研究者ほか ・2020年3月31日時点で満35歳以下(共同研究者含む) ※詳細はHP参照	助成金額は対象テーマによって異なります。 150万円以内 1点につき20万円(10万円) ※)内は委員特別賞	18時 WEB申請のみ ※②③は院生可(博士後期課程)指導教員の了承証明が必要。	https://www.kasen.or.jp/kken/info/renmei/3-001288.html
129	2019/11/15	日本公認会計士協会	第48回協会学術賞募集	①学術賞 会計・監査・税務・経営及び公認会計等の学術の発展に寄与し、公認会計士の業務の向上に資する優秀な著書・論文。 ②MCS MCS(マネジメント・コンタクト・サービス)業務の充実並びに発展に寄与する優秀な著書・論文(MCS技法の開発、調査を含む)。 ③会員特別賞 本会の会員及び準会員の作品で、公認会計士の業務の向上に資する優秀な著書・論文(未発表論文を含む)。	・2018年10月から2019年9月までに発行(初版本に限る)または発表された作品。 ・③会員特別賞については、本会の会員及び準会員であること	著書1点につき50万円(30万円) 論文1点につき20万円(10万円) ※)内は委員特別賞	必着	https://jiipa.or.jp/new_s-information/2018/2/0181002han.html

No	法人種別	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
130	2019/11/19	(公財)JKA	A.2020年度機械振興補助事業内「研究補助」 B.2020年度公益事業振興補助事業内「研究補助」	A.機械振興補助事業「研究補助」 機械振興に資する「独自の研究の促進を通じた成果の社会還元、 「若手研究者のキャリアアップによる人材育成」、「新技術又は新製品」 の実用化を目指す研究」、「複数年に渡る継続した研究」 B.公益事業振興補助事業「研究補助」 公益事業振興の推進に資する「若手研究者のキャリアアップとな る研究」、「地域社会の共生に資する研究」、「キャンパス等依存症 に係る研究」、「女性のスポーツの機会向上に係る研究」、「女性ア スリートの競技力や社会的評価の向上に資する研究」	A.機械振興補助事業 大学等研究機関に所属し、当該組織の研究活動に実 際に従事している者 B.公益事業振興補助事業 上記Aの条件に加え、若手研究者（研究に従事してか ら概ね15年以内にある者）	事業および研究の種類により異なる （～1,500万円） ※詳細はHP参照	15時までにインター ネット申請完了	<a href="https://hojo.keirin-
autoforce.or.jp/shinse/
index.html">https://hojo.keirin- autoforce.or.jp/shinse/ index.html
131	2019/11/29	(公財)サントリー文 化財団	2019年度海外出版助 成	海外における日本理解を促進するために、以下の通り外国語への翻 訳、編集、出版を助成の対象とする。 A.日本語で書かれた優れた研究業績を国際的に発信するもの。 B.日本語について書かれた書籍で、海外における日本理解に資するもの。 ※対象外となる図書あり。詳細はHP参照。	・2020年4月から2022年3月末日までの間に出版予定 の図書 ・原則として人文学、社会科学の分野において日本語 で書かれた優れた研究業績、あるいは日本語について 書かれ、助成を受けることにより翻訳・出版の道がひ かれる作品 ・日本語以外であれば、何語でも可。 ※詳細はHP参照 ・日本国内の教育機関に所属する研究者（ポストドク含 む） ※萌芽賞は2019年4月1日現在において37歳以下の 方を対象。	申請図書が翻訳費および出版費。 原書制作にかかる総費用の1/2かつ 100万円。 ただし英語への翻訳出版は総費用の 2/3かつ200万円を上限。	消印有効	<a href="https://www.sunstory.o
saka.ac.jp/publication/">https://www.sunstory.o saka.ac.jp/publication/
132	2019/11/29	(一財)田中貴金属 記念財団	2019年度貴金属に関 わる研究助成金	貴金属に関する新しい技術であること。 製品に革新的な進歩をもたらす貴金属に関わる研究・開発であること。 貴金属を利用した新しい製品の研究・開発であること。 （貴金属とは、白金、金、銀、パラジウム、ロジウム、イリジウム、ルテ ニウム、オスミウムを8元素をさします）	大学・国立研究開発法人等の研究機関に所属する研究者（ポストドク含 む）、大学院生、学部学生の方が対象 主たる研究者を中心とする少人数のグループでの申 請も可能 ※詳細はHPに掲載	プラチナ賞：500万円（1件） ゴールド賞：200万円（1件） シルバー賞：100万円（4件） 萌芽賞：100万円（2件）※ 実質賞：30万円（複数件）	17時まで	<a href="https://tanaka-
foundation.or.jp/grant/
index.html">https://tanaka- foundation.or.jp/grant/ index.html
133	2019/11/29	(公財)医療機器セン ター	2019年度調査研究助 成【公募型リサーチ テーマ】募集	医療機器産業界の振興・発展に寄与する経済学、経営学、法学、レ ジューラーサイエンス、歴史学、政治学等の幅広い社会科学系研究 テーマ※詳細はHPに掲載	大学・国立研究開発法人等の研究機関に所属する研究者 大学院生、学部学生の方が対象 主たる研究者を中心とする少人数のグループでの申 請も可能 ※詳細はHPに掲載	50万円を基準	※学生対象 第1期 2019/03/29 第2期 2019/07/31 第3期 2019/11/29	<a href="http://www.jaame.or
g/mtdi/rp-grant.html">http://www.jaame.or g/mtdi/rp-grant.html
134	2019/11/29	(公財)医療機器セン ター	2019年度調査研究助 成【公募型リサーチ テーマ】（第9期募 集）	医療機器産業界の振興・発展に寄与する経済学、経営学、法学、レ ジューラーサイエンス、歴史学、政治学等の幅広い社会科学系研究 テーマ※詳細はHPに掲載	大学・国立研究開発法人等の研究機関に所属する研究者 大学院生、学部学生の方が対象（国籍不問・日 本居住者のみ） 主たる研究者を中心とする少人数のグループでの申 請も可能 ※詳細はHPに掲載	50万円（税込）を基準	大学院生、学部学生 可	<a href="http://www.jaame.or
g/mtdi/activity/rsna
rchgrant.html">http://www.jaame.or g/mtdi/activity/rsna rchgrant.html
135	2019/11/30	(公財)小田急財団	2019年度研究助成	小田急線沿線をはじめとする地域社会が将来にわたって持続的に発 展していくことに寄与する、以下の3分野の研究。 ①公共交通および交通ネットワークに関する研究 ②持続可能な都市や地域の基盤整備およびコミュニティの活性化に 関する研究 ③地域の個性や魅力を引き出す観光の活性化・推進に関する研究 ※助成金に自己負担金等をあわせた研究費の範囲で、1年間で一定 の成果が得られる見込みのあるもの	日本国内の大学・研究機関等に在籍する大学院博士 課程在籍から准教授までの資格を有する研究者で、 2020年3月末日現在40歳以下	1件につき100万円、3件を予定	※所属機関の長の 承諾と、所属機関 の上席者・指導者か らの推薦。	<a href="http://www.odakyu-
zaidan.or.jp/grant/rp/
nyte.html">http://www.odakyu- zaidan.or.jp/grant/rp/ nyte.html
136	2019/11/30	(公財)池谷科学技 術振興財団	2020年度研究助成 国際交流等助成	①研究助成 先端材料及びこれに関連する科学技術 ②国際交流等助成（派遣） 過去に当該財団の①の研究助成を受けた者のうち、海外でその研究成 果を発表するための旅費 ③国際交流等助成（招聘） 先端材料及びこれに関連する科学技術分野において研究活動を行う 研究者の招聘	・応募する研究者が研究計画の推進に責任を持ち、助 成金の管理及び助成期間満了後の報告を確実に入 行すること ・大学院後期課程在籍者及びポストドクは、研究助成のみ 応募可。	①研究助成：最大150万円/件 ②国際交流助成：最大50万円/件 ③国際交流等助成（派遣） ④国際交流等助成（招聘）	24時 WEB登録後、メール 申請 ※要 所属機関長 （大学の場合は学科 長・学部長以上）の 承諾、ポストドクは指 導教官の推薦状も必 要。	<a href="https://kikatan-
zaidan.or.jp/system/?
page_id=105">https://kikatan- zaidan.or.jp/system/? page_id=105
137	2019/11/30	(公財)SBS鐘田財 団	2019年度研究助成	物流分野の振興・発展に資する①学術研究②研究会、シンポジウ ム、セミナー等の開催を助成。 ※学術研究のテーマ例、物流の効率化を進める取り組み・貨物輸 送の安全向上を図る取り組み・物流の仕組みの改善を通じて地球環 境負荷の低減（CO2排出の削減）を図る取り組み等 ①情報通信に関する法律、経済、社会、文化等の人文・社会科学分 野における研究調査 ②情報通信に関する技術分野における研究調査 ③情報通信に関する人文・社会科学分野及び技術分野の両分野に 跨る研究調査 ④上記とは別に「情報セキュリティ」と「防犯ICT」の2テーマに関する 研究調査を助成。	大学・大学院・その他研究機関に在籍し、物流分野に 係る研究活動に従事する個人または団体を対象	総額300万円、一件当たり限度額を50 万円	消印有効	<a href="https://www.sbs-
kamatazaidan.or.jp/sk
zd/furtherance/">https://www.sbs- kamatazaidan.or.jp/sk zd/furtherance/
138	2019/12/2	(公財)電気通信省 及財団	①2019年度研究調査 助成 ②財団設立35周年記 念・研究調査助成	①情報通信に関する法律、経済、社会、文化等の人文・社会科学分 野における研究調査 ②情報通信に関する技術分野における研究調査 ③情報通信に関する人文・社会科学分野及び技術分野の両分野に 跨る研究調査 ④上記とは別に「情報セキュリティ」と「防犯ICT」の2テーマに関する 研究調査を助成。	日本の大学等又は研究機関に所属する研究者、博士 課程（後期）在学者	①1件あたり年間22万～300万円 ②1件あたり年間300万まで	※博士後期課程生 可 要所属機関長の推 薦	<a href="https://www.taf.or.jp/
grant-a/">https://www.taf.or.jp/ grant-a/
139	2019/12/2	(公財)たばこ総合 センター	2020年度TASC助成 研究	下記いずれかのテーマについての、人文科学、社会科学の研究 ①嗜好品、あるいは嗜好品に関連する産業や企業に関する歴史・文 化に関する研究 ②嗜好品の摂取・利用が、人間の心理・行動・価値観・欲求・健康観・ 幸福感、あるいは社会に与える影響の研究 ③上記①、②以外の人文科学・社会科学分野における嗜好品に関 する研究 ④情報通信に関する法律、経済、社会、文化等の人文社会科学分野に 関する研究調査 ⑤情報通信に関する技術分野における研究調査 ⑥情報通信に関する人文・社会科学分野及び技術分野の両分野に 跨る研究調査 ⑦上記とは別に「情報セキュリティ」と「防犯ICT」の2テーマに関する 研究調査を助成。	日本国内の大学、研究機関、博物館等に所属する研 究者（非常勤での在職者、大学院生も可）	1件につき原則として50万円、75万円、 または100万円。 年間助成総額の上限は原則として500 万円。	消印有効 ※大学院生も可	<a href="http://www.tasc.or.jp/
assess/index.html">http://www.tasc.or.jp/ assess/index.html
140	2019/12/2	(公財)電気通信省 及財団	研究調査助成	①情報通信に関する法律、経済、社会、文化等の人文社会科学分野に 関する研究調査 ②情報通信に関する技術分野における研究調査 ③社会科学及び技術の両分野に跨る研究調査 ④上記とは別に「情報セキュリティ」と「防犯ICT」の2テーマに関する 研究調査を助成。	日本の大学等又は研究機関に所属する研究者、博士 課程（後期）在学者	1件当たり300万まで		<a href="https://www.taf.or.jp/
grant-a/">https://www.taf.or.jp/ grant-a/
141	2019/12/2	(公財)電気通信省 及財団	2019年度11月期 ①シンポジウム・セ ミナー等開催補助（学 術分野） ②シンポジウム・セ ミナー等開催補助（社 会貢献分野） ③国際交流人材育成 助成 ④ネット社会課題対 応補助	①シンポジウム・セミナー等開催補助（①学術分野）（②社会貢献分 野） ③国際交流人材育成助成補助 情報通信分野において、1我が国と開発途上国との国際交流、人材 育成を促進する活動 2国際交流を通じて、我が国の情報通信分 野における人材育成を促進する活動 ④ネット社会課題対応補助 1情報通信の発展に伴い生じている社会的な課題に取り組む非営利 団体の活動。 2地域や社会の課題の解決に貢献するため、情報通信の利用を適切 に組み合わせて、課題に取り組む非営利団体の活動	①会議、シンポジウム・セミナー等の開催を行う団 体 ②非営利活動を実施する団体	①②それぞれ、1件当たり100万円以 下を4件程度 ③1件当たり200万円程度 ④1件年間当たり200万円程度を4件 程度		<a href="https://www.taf.or.jp/
news/2019/2019-10-
4.html">https://www.taf.or.jp/ news/2019/2019-10- 4.html
142	2019/12/4	(公財)パブリック ヘルスリサーチセン ター	2020年度パブリック ヘルスリサーチ助成 金 ①ストレス科学分野 ②生命医学科学分野	2020年度募集研究テーマ ①ストレス科学分野：「ストレスマネジメント」 ②生命医学科学分野：「成長・発達と老化」 ③キーワード：エイジング、遺伝子調節、環境応答、先制原傷、炎症 ④日本国内にある歴史的文化財の建造物の保存、修復に関する学 術研究 ⑤日本国内にある歴史的文化的財の建造物の保存、修復に関する学 術研究 ⑥環境負荷低減、環境保全等の環境に関する技術の普及・啓蒙を目的 とする国際会議・研究発表会等の参加、およびシンポジウム等の開 催を支援	・ストレス科学分野、または生命医学科学分野の研究 者・国内の非営利の研究機関に在籍している研究者、ま たは博士後期課程（それに準ずる課程も含む）の学生 ・生年月日が1980年4月2日以降の者 ・所属する部署の長等の推薦を受けている者 ・2019年度本助成金の助成対象でない者 日本の大学、その他研究機関に在職し、主たる仕事 が研究職として研究活動に従事している研究者 （大学院生、専攻科生等は対象外）共同研究者も同様 日本の国・公・私立大学（大学附帯または附属研究所 を含む）、及び高等専門学校に在籍する個人	①1件あたり50万円を上限とし、最大 12件 ②1件あたり100万円を上限とし、最大 3件	※要 ※博士後期学生可	<a href="https://www.phrf.jp/
ssi/outline.html">https://www.phrf.jp/ ssi/outline.html
143	2019/12/9	(公財)松井角平記 念財団	2019年度（第5回）助 成金	①日本国内にある寺院、神社等の建造物に関する学術研究 ②日本国内にある歴史的文化的財の建造物の保存、修復に関する学 術研究 ③環境負荷低減、環境保全等の環境に関する技術の普及・啓蒙を目的 とする国際会議・研究発表会等の参加、およびシンポジウム等の開 催を支援	①一般研究 大学、研究所および病院等に所属する専任の研 究者。 学生は、共同研究者として参加可。 ②若手研究 2020年4月1日現在、44歳以下の大学、研究所および 病院等に所属する研究者が1人で行うこと。 学生不可。 日本国籍を有し（且つ日本在住の方）、科学技術の発 展に卓越した貢献をされた方。	2件以内（賞状、賞状および副賞各 1,000万円）	消印有効 ※簡易書留または配 送 第1期2019/4/10～ 2019/6/10（消印有 効） 第2期2019/10/10 ～2019/12/10（消 印有効） Web申請 要所属機関の長に よる承諾	<a href="http://www.matsui-
ken.co.jp/zaidan/kaku
he-hinen/grant/">http://www.matsui- ken.co.jp/zaidan/kaku he-hinen/grant/
144	2019/12/10	(公財)八洲環境技 術振興財団	2019年度国際会議・ 研究発表会等の参加 及びシンポジウム等 の開催助成	環境負荷低減、環境保全等の環境に関する技術の普及・啓蒙を目的 とする国際会議・研究発表会等の参加、およびシンポジウム等の開 催を支援	①一般研究 大学、研究所および病院等に所属する専任の研 究者。 学生は、共同研究者として参加可。 ②若手研究 2020年4月1日現在、44歳以下の大学、研究所および 病院等に所属する研究者が1人で行うこと。 学生不可。 日本国籍を有し（且つ日本在住の方）、科学技術の発 展に卓越した貢献をされた方。	2万円/件 ①1件につき50万円以内で5件前後 ②1件につき30万円以内とし10件前 後	消印有効 ※簡易書留または配 送 第1期2019/4/10～ 2019/6/10（消印有 効） 第2期2019/10/10 ～2019/12/10（消 印有効） Web申請 要所属機関の長に よる承諾	<a href="https://www.yashima-
enki.co.jp/candidate/
enriss_application.ph
p">https://www.yashima- enki.co.jp/candidate/ enriss_application.ph p
145	2019/12/12	(公財)喫煙科学研 究財団	2020年度喫煙科学研 究財団助成研究 ①一般研究 ②若手研究	喫煙（加熱式たばこ等含む）に関する、獨創性が高く学術上の意義が 大きい科学調査研究を助成。	①一般研究 大学、研究所および病院等に所属する専任の研 究者。 学生は、共同研究者として参加可。 ②若手研究 2020年4月1日現在、44歳以下の大学、研究所および 病院等に所属する研究者が1人で行うこと。 学生不可。 日本国籍を有し（且つ日本在住の方）、科学技術の発 展に卓越した貢献をされた方。	①一般研究 助成期間は3年間を限度とし、1年当 たり200万円目安 ②若手研究 助成期間は3年間を限度とし、1年当 たり150万円目安	消印有効 ※簡易書留または配 送 第1期2019/4/10～ 2019/6/10（消印有 効） 第2期2019/10/10 ～2019/12/10（消 印有効） Web申請 要所属機関の長に よる承諾	<a href="https://www.scf.or.jp/
category/crcnet">https://www.scf.or.jp/ category/crcnet
146	2019/12/13	(公財)藤原科学財 団	第1回藤原賞	自然科学分野に属する基礎科学及び応用化学 ※選考は5つの分科（数学・物理、化学、工学、生物・農学、医学）に 分けて行う。	日本国籍を有し（且つ日本在住の方）、科学技術の発 展に卓越した貢献をされた方。	2件以内（賞状、賞状および副賞各 1,000万円）	消印有効 ※簡易書留または配 送 第1期2019/4/10～ 2019/6/10（消印有 効） 第2期2019/10/10 ～2019/12/10（消 印有効） Web申請 要所属機関の長に よる承諾	<a href="https://www.fujizai.or
g/download.htm">https://www.fujizai.or g/download.htm
147	2019/12/15	(公財)国際文化交 流事業財団	令和2年度人物交流 派遣・招聘事業	派遣派遣・被招聘者が行方、学術、文化（文学、芸術、言語等）又は教 育に関する活動（研究、調査、研究会、意見交換、講演、シンポジ ウム、フォーラム、フェスティバル、演奏会、展覧会又は展示会等）	①派遣：学術、文化（文学、芸術、言語等）又は教育に 関する活動に携わっている日本の学者、研究者、教育 者又は芸術家等が海外に渡航して行う活動 ②招聘：学術、文化（文学、芸術、言語等）又は教育に 関する活動に携わっている外国の学者、研究者、教育 者又は芸術家等が日本国内で行う活動 東京圏に本部のある大学・公的研究機関に所属する 研究者 ※(3) (A)海外渡航招聘事業は大学院生を含むが、指導教 員名で応募すること。	●派遣・招聘の人数：合わせて10名程 度 ●助成する経費：派遣・招聘とも国・地 域により10～20万円。		<a href="https://www.liceef.or
g/dispatch">https://www.liceef.or g/dispatch
148	2019/12/16	(公財)精密測定技 術振興財団	2020年度助成募集	(1)精密測定技術振興のための調査および研究事業 (2)精密測定技術向上のための講演会および研究会の開催（シンポジ ウム、国際会議を含む） (3)精密測定技術向上のための国際交流等研究促進事業 (A)海外渡航事業 (B)外国人研究者招聘事業	①精密測定技術に関する調査および研究事業 ②精密測定技術向上のための講演会および研究会の開催（シンポジ ウム、国際会議を含む） ③精密測定技術向上のための国際交流等研究促進事業 (A)海外渡航事業 (B)外国人研究者招聘事業	助成額： （1）1件につき250万円以内 （2）1件につき50万円以内で5件前後 （3）1件につき30万円以内とし10件前 後	※(3)の募集期間は 以下の通り 前期：2019/11/1～ 2020/1/31 後期：2020/5/1～ 7/31 ※要 所属機関の長に よる承諾	<a href="http://www.pmp-
for.jp/application.html">http://www.pmp- for.jp/application.html
149	2019/12/16	(公財)エリザベス ・アールド富士財 団	令和2年度学術研究 助成 A.学術研究助成 B.舟橋重明記念奨励 助成	A.Bともに、以下の研究分野で、主に食品科学の研究に関する研究者 及び研究機関を対象とする。 (1)米、麦等に関する研究 (2)米、麦等を原料とする食品の生産・加工・流通・生理的機能性等に 関する研究 (3)米、麦等を原料とする食品製造における技術の向上発展に関する 研究 (4)米、麦等を原料とする食品製造における機械の向上進歩に関する 研究	A.学術研究助成 所属研究機関長の推薦が得られていること。 B.舟橋重明記念奨励助成 上記Aの採択者のうち、下記の要件を満たす1名に助 成。 ①研究内容が優れた、かつ、斬新で上記(1)～(4)の研究 分野において将来性が見込まれること ②42歳以下の研究者（令和2年4月1日現在） 若手研究者（2019年4月1日において40歳未満）で、広 く経営、労働、生産性などに関する領域を研究する個 人またはグループ（所属、国籍不問）。	A.学術研究助成 50万円から100万円 ※特に優れたと認められた者に、(1) に加え最高100万円の特別助成。 B.舟橋重明記念奨励助成 対象者1名に対し100万円を助成	消印有効 ※簡易書留または配 送 第1期2019/4/10～ 2019/6/10（消印有 効） 第2期2019/10/10 ～2019/12/10（消 印有効） Web申請 要所属機関の長に よる承諾	<a href="http://www.fujizaidan.
or.jp/boisya.html">http://www.fujizaidan. or.jp/boisya.html
150	2019/12/17	(公財)日本生産性 本部	2019年度生産性研究 助成	経営、労働、生産性などに関するもの	若手研究者（2019年4月1日において40歳未満）で、広 く経営、労働、生産性などに関する領域を研究する個 人またはグループ（所属、国籍不問）。	50万円または100万円/件 どちらか一つを選択し、応募のこと。 助成件数3件以内。	17時 メールにて受付	<a href="https://www.jpcc-
nst.jp/gasemai/jpc-
html">https://www.jpcc- nst.jp/gasemai/jpc- html

No	法人種切	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP	
151	2019/12/24	(公財)セコム科学技術振興財団	学術集会および科学技術振興事業助成	安全・安心に関する科学技術の振興を目的とする学会・シンポジウム・研究会などの学術集会や、将来研究者や技術者を旨とする若者・子供たちの啓発・育成を目的とする集会の開催費用を支援。また、集会のみならず、研究者の成果発表のための海外渡航費を支援する事業や、若者・子供たちの啓発・育成を支援する事業への支援も行う。	国内法人及びそれに準ずる任意団体が主催し、安全・安心に関する科学技術の振興を目的とする集会であり、国内で開催されるもの(学会、シンポジウム、研究会等)。国際集会も対象。将来研究者や技術者を旨とする児童や生徒の啓発・育成を目的とする集会や事業も対象。研究者の海外渡航費の支援など人材育成を目的とする事業も対象。※その他の条件はリンク先を参照	1件あたり最大100万円。	必需2019/7/31及び2019/12/22	https://www.seconzai.dan.jp/seai.html	
152	2019/12/25	(一財)守谷育英会	2019年度(一財)守谷育英会研究助成事業	(1)自然科学、特に動物学に関する基礎研究 (2)工物における基礎研究 (3)社会、環境、福祉等に関する基礎研究 (4)人文科学における基礎研究	※学部生、大学院生及び研究生は対象外 ①東京都内の大学もしくは研究機関に在籍、または東京都内に居住し、大学もしくは研究機関に在籍して、基礎的分野の学術研究に従事する個人であること。 ②申請者の助成金交付の開始時の年齢が原則として満40歳未満であること	交付金額:年120万円/件を標準。最大4年程度 助成件数 5件~10件 総額 3,000万円	学内締切:2019/12/14(公募締切は12/23で、推薦枠が限られているため、上記学内締切までに研究開発センターまで提出してください。メールアドレス:suisin@adm.hosei.ac.jp(を必ずに要してください。)) ※交付申請書(紙)は、研究開発センターに請求のこと。	http://montani-zobashiryo.or.jp/	
153	2019/12/25	粉体工学情報センター	2020年度粉体工学情報センター	基礎的な研究分野、特に単位操作に関わる萌芽的・独創的な研究を奨励。研究主題は次の2つ。 (1)食品粉体に関する研究 (2)粉体物性に関わる基礎研究	日本の大学・研究機関等に常勤で在籍し、粉体工学関係の研究活動に従事する研究者	助成額 1件 100万円/年 成件数 10件以内	必需	http://www.ispt.jp/kenkyu/index.html	
154	2019/12/27	日本奥山学会	2020年度 日本奥山学会 奥山研究助成金	奥山の自然生態系の保全・再生の推進に関する研究分野の工場環境に寄与する有益な研究・活動等 (奥山生態系、林業、水源、鳥獣対策、奥山利用の歴史、法整備、文学、災害等)	奥山に関する研究を実施している個人または団体(学部生、院生、ボストクを含む)	1件あたり10万円	消印有効 ※学生可	http://okuyama-society.org/	
155	2019/12/31	(公財)日本ゲーム文化振興財団	ゲームクリエイター助成制度	ゲームクリエイターの創作活動に対する助成。プラットフォーム、ゲームのジャンル不問。	(1) コンピュータゲームの創作活動を行う者であること。 (2) 申請する分野において2年以上の活動実績があること。 (3) 募集年度4月1日時点で年齢35歳以下であること。 (4) 国内における活動であること。 (5) 活動状況及び成果について適正に報告できること	1件あたり200万円まで	消印有効(郵送のみ受付) ※学生及び院生可	https://japangame.org/support/	
156	2019/12/31	乳の学術連合	2020年度「乳の学術連合」学術研究	①牛乳乳製品健康科学「学術研究牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題」に係る学術研究 ②「乳の社会文化」学術研究 牛乳乳製品の価値向上、日本・アジアにおける牛乳乳製品の食生活の受容、次世代酪農の可能性等に関する「乳」に係る社会的・文化的な学術研究 ③「食と教育」学術研究 乳を活用した「食」に係る教育の新たな知見に関する学術研究	国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等。またはこれに付随する研究を行っている個人の研究学者等。	①年間150万円以内を10件程度 ②年間70万円以内を8件程度 ③年間70万円以内を7件程度 ※②③ともに、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円以内とする。	院生可	http://in-alliance.milk.jp/koubou/2020/index.html	
157	2019/12/31	(公財)藤森科学技術振興財団	2020年度研究助成	環境問題の解決に向けた機能を有する物質、材料、機構、設計、生産、社会システムに関わる萌芽的な研究(自然科学・工学と社会科学の両分野)	日本の大学・研究所等に勤務し、主体的に研究を進めている常勤の研究者、大学院後期課程在籍者およびボストク	1件につき100万円を計4件予定	消印有効 ※要所属機関長の推薦 博士後期課程学生可	http://www.fujimori-f.or.jp/subsidy/requirements.html	
158	2020/1/10	(公財)フジシールパッケージング教育振興財団	2020年度パッケージング研究助成事業	パッケージに関わる研究 特に、パッケージ分野における環境対策の研究、パッケージに関する認知や研究活動に新たな広がりや深みをもたらすことが期待される研究を優先的に対象とする。	①主たる勤務先が国内の大学とその附属研究所、大学共同利用機関、公的研究機関であること ②上記の機関に所属する原則常勤の研究者、職務専念義務上、外部助成費の受給にかかわる制約がないこと ③当財団からの研究助成を所属機関が研究費として管理する前提のもとに、所属機関が応募を承認していること	助成金総額4,500万円 合計15件程度 ※100~500万円/件の希望額を記載すること	http://www.fujiseal.co.jp/foundation/support/index.html		
159	2020/1/10	(公財)吉田秀雄記念事業財団	2020年度(第54次)研究助成	①自由課題 「広告・広報・メディアを中心とするマーケティング及びコミュニケーション」に関連する研究課題を自由に設定。 ②特定課題 ※詳細はHP参照	【常勤研究者の部】 大学に在籍する助教以上の常勤研究者(個人またはグループ研究) 【大学院生の部】 博士後期課程に在籍する大学院生(個人またはグループ研究)	【常勤研究者の部】 研究費 300万円以内/件 継続研究 400万円以内/件 (10件程度) 【大学院生の部】 研究費 50万円以内/件 継続研究 200万円以内/件	必需 ※大学院生は指導教員(教育)の推薦書を添付すること	http://www.yhmf.jp/activity/aid/outline.html	
160	2020/1/15	(公財)三菱財団	三菱財団50周年記念特別助成第2回(2020年度)三菱財団文化財修復事業助成	人文分野	①文化財保護法第二条第1項に規定される有形文化財のうち、建造物を除く文化財(絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化財)の産産で我が国において歴史または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料、以下「美術工芸品」という)の修復。 ②日本国内に所在する、屋内展示可能なものに限ります。 ③修復に伴う社会的意義の高いものを対象とする。 ④国・重要文化財(国指定)の修復は対象外とします	【大規模な部】 博士後期課程に在籍する大学院生(個人またはグループ研究) ①文化財保護法第二条第1項に規定される有形文化財のうち、建造物を除く文化財(絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化財)の産産で我が国において歴史または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料、以下「美術工芸品」という)の修復。 ②日本国内に所在する、屋内展示可能なものに限ります。 ③修復に伴う社会的意義の高いものを対象とする。 ④国・重要文化財(国指定)の修復は対象外とします	助成総額2000万円を予定。応募金額の上限は1件当たり原則500万円とし、採択予定件数は10件程度を目標。	午後5時まで 面接費又は一般管理費は助成の対象としない。	https://www.mitsubishizaidan.jp/support/cultural-property.html
161	2020/1/15	(公財)三菱財団	第49回(2020年度)三菱財団人文科学研究助成	①②とも、人文分野、及びそれに関連する分野からなる、人文社会科学全般を対象。 ②大型連携研究助成については、異なる専門領域の複数メンバーのチームにより、同一の社会課題解決のため、より多角的に、連携してタナメックに挑戦する提案型の応募に対する助成。 ※詳細はHP参照。	原則として、特定のテーマの、個人ないし少数のグループまたは法人・団体による研究、国籍不問。 大型連携研究助成の場合は複数の領域の研究者のチーム。	助成額:①②合わせて総額約8000万円を予定。 ②はそのうちの2000万円程度。 採択件数:①②計35件程度、うち②は4件程度。 応募金額の上限:①500万円/件、②は1000万円/件 まで可	午後5時まで	https://www.mitsubishizaidan.jp/support/humanities.html	
162	2020/1/17	(公財)高梨学術奨励基金	令和2年度 ①若手研究助成 ②特定研究助成	①②とも以下を助成対象とする。 (1)歴史学(考古学、文献史学・絵巻等の視覚史料を含む)、及び美術史とそれに関連する分野の調査研究研究。 (2)文学史は、日本を中心とした調査研究を主な対象とする。美術史は、日本を含む東洋の陶磁工芸、絵画、彫刻、書跡などの調査研究を主な対象とするが、日本の伝統工芸史分野の調査研究も対象として考慮。 (3)文明興亡史の調査研究 (4)世界諸文明について、現代社会の将来展望を考察する文明興亡史の調査研究を対象	①令和2年4月1日現在満39歳以下の日本の国籍を有する者(詳細はHP参照)。 ②日本の国籍を有する者	①単年度助成。1件あたり100万円を上限。助成総額は、2,300万円程度を予定。 ②単年度または複数年度助成。全件数・全期間の総額500万円(令和2年度は200万円)程度を予定。助成件数は1、2件。件数により按分。	http://www.disco-koeki.org/06a/00848/		
163	2020/1/23	(公財)三菱財団	第51回(2020年度)三菱財団社会福祉事業並びに研究助成	調査研究、開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的詳細調査 ※事業支援については、学校法人は応募主体となりませんので詳細は掲載しておりません。	①日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有するもの(国籍等不問)。詳細はリンク先参照。	総額1億円(予定)。採択件数未定。	午後5時まで	https://www.mitsubishizaidan.jp/support/social.html	
164	2020/1/30	(公財)メルコ学術振興財団	2019年度第三次研究助成(国際研究交流助成)	会計管理学の研究を促進するための次に該当する国際研究交流。 (A)学術報告派遣(1週間以内) (B)短期派遣(3か月以内) (C)中期派遣(4~24か月以内) (D)招聘	次に該当し、2020年3月6日~12月末日の間に出版、又は掲載を予定している者。 (1)日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生。(ただし、大学院生は招聘への応募不可) ※その他の条件は、HPを参照。	(A)20万円程度×5件程度 (B)30万円程度×4件程度 (C)50万円以下×若干名 (D)10万円/月×若干名 (E)50万円以下×若干名 ※助成金額は総額400万円程度で、渡航費(住費)及び滞在費の一部を援助。	必需 院生可	http://melco-foundation.jp/apply/international/527/	
165	2020/1/30	(公財)メルコ学術振興財団	2019年度第三次研究助成(出版助成)	管理会計学及び関連領域の研究成果の出版(翻訳書も含む)。	2020年4月1日~9月末日の間に研究成果を本財団研究費助成として財団指定の出版社から出版できるものに限る。	1件150万円を限度とし、総額150万円以内。助成件数若干名。	必需 要所属機関長の推薦	http://melco-foundation.jp/apply/publication/527/	
166	2020/1/30	(公財)メルコ学術振興財団	2019年度第三次研究助成 ①研究助成A ②研究助成B ③挑戦的萌芽研究助成	日本企業で実践されている優れた管理会計実務の定式化又は理論化に関する研究ならびにそれらを含む周辺領域に関する研究。(特に管理会計技法、管理会計システム、事業承継システム、およびそれに関連する管理システムを対象)	①研究助成A 研究者・博士後期課程大学院生 ②研究助成B 博士後期課程大学院生 研究者・博士後期課程大学院生 ・申請者(個人またはグループ代表者)は研究助成期間中、日本の大学・研究機関に所属していること。その他の詳細はリンク先参照。 国内の大学・研究機関等に所属し、バイオ分野(医療や農業領域を含む)やIT分野を中心に新事業又は新用途の創出につながる研究開発に取り組む個人又はグループ。 主たる研究者は申請締切日時点で満50歳未満であること。	①研究助成A 1件30万円~200万円程度、助成件数10件程度 ②研究助成B 一人毎年60万円程度×3年間、助成件数若干名 ③挑戦的萌芽研究助成 1件30~200万円程度、助成件数若干名	必需 院生可	http://melco-foundation.jp/apply/research/527/	
167	2020/1/31	(一財)G-7奨学財団	研究開発助成	バイオ分野(医療や農業領域を含む)やIT分野を中心に新事業又は新用途の創出につながる研究開発を対象	国内の大学・研究機関等に所属し、バイオ分野(医療や農業領域を含む)やIT分野を中心に新事業又は新用途の創出につながる研究開発に取り組む個人又はグループ。 主たる研究者は申請締切日時点で満50歳未満であること。	1件あたり上限300万円を10件程度	消印有効	https://g7-foundation.or.jp/kenkyu.html	
168	2020/1/31	(株)リハネス	第47回リハネス研究費 味の素ファインテック 機能性材料賞	機能性材料とその応用に関するあらゆる研究	大学・研究機関に所属する40歳以上の研究者	研究費50万円	24時締切 学部生・大学院生可	https://r.ln.st/2019/12/01/grant-af/	
169	2020/1/31	(株)リハネス	第47回リハネス研究費 超異分野学会賞	自然科学、工学、農学、医学、薬学のあらゆる研究かつ、設置する領域に該当する研究。 アプリケーション、バイオテック、ケアテック、デュープレック、エコテック、フードテック、マリンテック、ドテックの8領域	大学・研究機関に所属する40歳以上の研究者	研究費50万円	24時締切 学部生・大学院生可	https://r.ln.st/2019/12/01/grant-hac/	
170	2020/1/31	(公財)永守財団	第6回永守賞	モーター、アクチュエーター、発電機及びそれらの制御方法、その応用技術等に関する技術分野	対象分野において、国内外の大学、公的機関、民間企業等に所属し、優れた功績をあげた新進・中堅の研究者、または開発者 学術推薦又は学術監査が必要	永守賞の受賞者は6名程度。表彰式で「永守賞賞状」を発表。 副賞は、永守賞賞状は500万円、永守賞研究費は200万円	消印有効	http://www.nagamori-f.org/awards/applicatioufudelines.html	
171	2020/1/31	(株)リハネス	第47回リハネス研究費 カイオム・バイオサイエンス賞	抗体医薬の可能性を拓くためのあらゆる研究	大学・研究機関に所属する40歳以上の研究者	研究費50万円 (マイルストーンにより最大300万円の研究費を助成する場合もある)	24時締切 学部生・大学院生可	https://r.ln.st/2019/12/01/grant-chiome/	

No	法人種切	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
172	2020/2/1	(財)電気通信普及財団	海外渡航旅費援助(2019年度)	情報通信の普及、振興発展に資するため、情報通信に関する研究(人文・社会科学分野及び技術分野)を行う研究者が、海外で開催される国際会議などで研究発表を行うための渡航費用の一部を援助	・日本の大学等及び研究機関に所属する研究者の方 ・大学院生(少人数グループ含む)を対象。国籍・年齢不問。ただし日本国内居住者。 ・40歳以下(2019年4月1日時点)で、所属する機関の長の推薦を受けた方 ※大学院博士前期課程・修士課程の方は対象外とします。	地域別補助金額(上限の目安)あり、学会等の開催地までの往復航空運賃と参加費・滞在費の経費の一部を援助 ※詳細はHPに掲載	※院生(博士課程(後期)可)申請は通年で受け付け、2ヶ月に1回審査あり 4月、6月、8月、10月、12月、2月の各1日までに、それぞれ翌月1日から6ヶ月先までに開催される学会への参加について申込み受付 午後5時まで	https://www.taf.or.jp/grant-b/02/
173	2020/2/5	(公財)三菱財団	第51回(2020年度)三菱財団自然科学研究助成	自然科学のすべての分野にかかわる独創的かつ先駆的な研究	①一般助成:原則として、一つのテーマとして独立した個人研究(少人数グループ含む)を対象。国籍・年齢不問。ただし日本国内居住者。 ②若手助成:①の応募資格に加え、2020年4月1日現在40歳未満の方、博士學位取得者は40歳未満かつ学位取得後10年未満の方に限る。 ※詳細はHP参照。	①一般助成:総額2億8000万円程度を目標。応募額は1件あたり2000万円以内とし、採択件数は40件程度を目標。 ②若手助成:総額最大8000万円程度を目標。助成額は1件あたり1000万円。採択件数は最大20件を目標。		https://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/
174	2020/2/14	東芝デバイス&ストレージ(株)	学術奨励制度(HPでの掲載なし)	東芝デバイス&ストレージ社の半導体事業に関連するもの	国内の大学・大学院で行われている研究テーマで、在籍する(学部、修士課程)が1名以上従事していること	1件あたり50万円	15時必着 メールにて受付	https://toshiba.semicon-storage.com/jp/corporate.html
175	2020/2/28	(公財)NEC C&C財団	2020年度前期 国際会議論文発表者助成	海外で開催される国際会議においてC&C(Computers&Communications)分野の研究発表者を対象に、その会議に出席のための渡航費用等を補助する。	①国際会議参加時に日本の大学及びこれに準ずる教育機関(在籍している大学院生(原則40歳以下)の採用が原則として認定していること、採用未確定の段階でも応募可だが、諸条件あり。 ②投稿論文の場合は、筆頭筆者でかつ発表者であること ③参加する国際会議は原則学会等の学術団体が主催、協賛、後援するもの ④経済的必要性が高いことを原則とする。	(1)応募件数は、1名につき1件。 (2)1件当たりの助成額は12~25万円、開催地などによる。 (3)同一の権限者(=同じ研究室)から同一の国際会議への応募は原則1名	メールのみ受付(郵送不可) ※指導教員からの推薦書	http://www.candc.or.jp/yossei/yossei_kokusei.html
176	2020/2/28	(公財)三島海雲記念財団	2020年度学術研究奨励金	(1)自然科学部門 食の科学に関する研究(食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防等に係る研究) (2)人文科学部門 アジア地域の史学・哲学・文学を中心とする人文社会科学分野における学術研究(但し、日本を中心とする研究は除く) 大学、研究機関等の学術的成果をもとにして企業が開発、企業化した技術であって、わが国科学技術の進展に寄与し、経済の発展、福祉の向上に貢献したものである中から特に優れたものについて、研究者及び企業を表彰する。(詳細はHP参照)	(A)個人研究奨励金 日本在住の研究者(国籍不問)、及び海外在住の日本人研究者 (B)共同研究奨励金 ①代表研究者は国内の大学、研究機関に所属すること。その他条件等はHP参照。 ②原則として、表彰対象技術との研究者1名および企業代表者1名。 (両方あるいは一方が日本国籍を有すること)	(A)個人研究奨励金 一件当たり100万円×60件程度(自然、人文高部門計) (B)共同研究奨励金 一件当たり200万円~500万円×3~5件程度(自然、人文高部門計)	必着 ※(A)は院生(博士後期課程)応募可	https://www.mishima-kaia.or.jp/assist/
177	2020/2/29	国立研究開発法人科学技術振興機構	第45回(令和2年度)井上春成賞	学術研究(但し、日本を中心とする研究は除く) 大学、研究機関等の学術的成果をもとにして企業が開発、企業化した技術であって、わが国科学技術の進展に寄与し、経済の発展、福祉の向上に貢献したものである中から特に優れたものについて、研究者及び企業を表彰する。(詳細はHP参照)	①代表研究者は国内の大学、研究機関に所属すること。その他条件等はHP参照。 ②原則として、表彰対象技術との研究者1名および企業代表者1名。 (両方あるいは一方が日本国籍を有すること)	表彰状、賞状、研究者に研究奨励金100万円×2件		https://inouesho.jp/oubo/index.html
178	2020/2/29	(一財)冠婚葬祭文化振興財団	第21回社会貢献基金助成	地域の種々の災害の救済、社会福祉事業、環境保全事業など社会貢献活動を行う各団体等への助成及び社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業を対象。 (1)研究助成事業(2)高齢者福祉事業(3)障害者福祉事業(4)児童福祉事業(5)環境・文化財保全事業(6)地域つながり事業(7)冠婚葬祭承継事業	非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループ)及び又は大学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行うおこなっている団体等。(個人資格による申請については、研究助成分野以外には対象外)条件あり。詳細はHP参照	総額およそ1,000万円を目標とし、1件当たりの助成額は上限は200万円 研究助成事業は上限100万円	必着	http://www.ceremony-culture.jp/service/content/01/
179	2020/3/16	ニッセイ財団	2020年度実践的研究助成	以下の重点募集分野に対する課題を明確にした研究 【第1分野】 健全育成のための教育、周到な準備を要する分野(教育、予防的対応等を要する分野) 【第2分野】 健全育成にとって喫緊の対応を要する分野(療養的対応等を要する分野) (※詳細はHPを参照)	【第1分野】 助成期間2年間 研究者または実践家 【第2分野】 助成期間1年間 研究者または実践家(大学院博士課程も対象) ※両分野ともに ・複数名の研究組織で研究者と実践家の双方が参画すること。 ・代表研究者は国籍・所属は不問だが、国内居住者であること。	【第1分野】1件最大400万円(1年度最大200万円)を4件、出版の助成金は別途準備あり。 【第2分野】1件最大100万円を12件程度	消印有効	http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/index.html
180	2020/3/31	(一財)日本経営管理協会	第30回経営管理黒澤賞論文募集	課題テーマ「令和時代のビジネス革新」	論文は未発表でオリジナルのもの。	黒澤賞・1編 5万円 協会賞・2編 3万円 佳作・若手編 1万円 奨励賞・若手編 記念品	※学生可 ※当日消印有効 ※原則としてメール送とする 消印有効 ※第三者からの推薦書	http://www.jima.or.jp/kurosawashin.html
181	2020/3/31	(公財)ポーラ伝統文化振興財団	第40回伝統文化ポーラ賞	わが国の無形の伝統文化の保存・振興をはかるため、伝統工芸技術・伝統芸能、民族芸能・行事の各分野で伝承・振興活動および保存・研究活動に貢献し、今後とも活躍が期待できる個人または団体に対し、更なる活躍と業績の向上を奨励することを目的とする	以下の顕彰区分における他薦(自薦は除外) ①優秀賞 ②奨励賞 ③地域賞	①賞状、賞金100万円(特に抜きん出た業績を持つ個人または団体には大賞賞状、賞金150万円を顕彰) ②賞状、賞金50万円 ③賞状、賞金50万円	消印有効 ※第三者からの推薦書	http://www.polaclub.or.jp/promotion/iyos-eiaply.html
182	2020/3/31	(公財)医療機器産業研究所	2020年度調査研究助成(公募型リサーチペーパー)(第10期発表)	医療機器産業界の振興・発展に寄与する経済学、経営学、法学、レギュラリーサイエンス、歴史学、政治学等の幅広い社会科学系研究テーマ ※詳細はHPに掲載	大学・国立研究開発法人等の研究機関に所属する研究者、大学院生、学部学生が対象(国籍不問・日本居住者のみ)。 主たる研究者を中心とする少人数のグループでの申請も可能 ※詳細はHPに掲載	50万円(税込)を基準	必着 大学院生、学部学生可	http://www.jaame.or.jp/mdsi/activity/researchgrant.html
183	2020/3/31	フジサンケイビジネスアイ	第34回独創性を拓く先端技術大賞	下記から1分野選択。テーマ自由。 A.エレクトロニクス・情報 B.バイオ、生体・医療、医薬、食品 C.材料 D.環境・エネルギー E.機械・土木・建築 F.化学 G.ナノテクノロジー	(社会人部門) 2019年度に発表した企業や産学連携等の研究開発成果(近い将来の実用化を見据えた技術論文、新製品などあらゆる研究開発)で研究者、研究グループ代表者の年齢がおおむね40歳以下の若手研究者、技術者。(学生部門) 国・公・私立大学の学生、大学院生、工業高等専門学校生およびこれらの学生グループ、留学生も可。	各賞および副賞(研究奨励金) 各賞および副賞(研究奨励金)	学生・院生応募可	http://www.fbi-award.jp/sentan/booyu/index.html
184	2020/3/31	(公財)大川情報通信基金	2020年度(第29回)大川賞・大川出版賞	①大川賞 情報・通信分野における研究、技術開発および事業において顕著な社会的貢献のあった方 ②大川出版賞 情報・通信分野に関する優れた図書	①受賞者は原則として個人とし、故人は含まず。 ②2016年1月1日以降に発行された図書 留意事項 ・著者は原則として個人とするが数名に限り共著も認められる ・編者は原則として著者の対象外 ・図書は原則として日本国内で発行されたものとするが著者の国籍は不問	①賞状ならびに副賞として金メダル、賞金1,000万円 (日本人研究者1名、海外の研究者1名) ②著者に対して賞状ならびに副賞として銀メダル、賞金100万円 出版社に対して賞状および賞状×2~3件	必着	http://www.okawa-foundation.or.jp/index.html
185	2020/3/31	(財)山下太郎顕彰育英会	第31回山下太郎学術研究奨励賞	学術研究を行っている研究者、研究団体に対する研究助成	次の3つの条件を満たしている個人とする。 (1)秋田県出身、又は秋田県内の研究機関等に所属する者 (2)令和2年4月1日現在において満40歳未満である者 (3)専攻する学術分野において独自の優れた業績をあげ、原則として最近5年間に専門の学術研究誌等に発表するか、権威ある展覧会・発表会等において入賞・入選等の実績がある者	受賞者数は2名以内とし、1名につき表彰状と副賞100万円を授与。	※学内締切:2020年2月末日(推薦書に定めがあるため)	http://yamaku.jp/arc/hives/1168.html
186	2020/3/31	(株)リパナス	第47回リパナス研究費シグマクスロボティクス研究推進賞	家庭や街中の環境下で自律的に作業できるロボットの開発に関する研究	大学・研究機関に所属する40歳以上の研究者	研究費50万円	24時締切 大学院生・学部学生可	https://r.lne.st/2020/03/01/46th.sigmayz/